

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- フェンスは隣地境界線を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分ご注意ください。
 - ・平らな場所に保管してください。（立てかけて置かないでください）
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- 開き戸を取付けることはできません。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って（平行）行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等をしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

■ 梱包明細表

【1】 主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数	
		T-10以下	T-12以下
笠木用主柱（ベース仕様）		1	1
柱下側スリーブ材		1	1
笠木取付金具		2	2
【1-1】φ4×20サラタッピン3種		4	6
【1-2】φ4×16サラタッピン3種		4	4
【1-3】φ5×40ナベタッピン2種 G=5		4	4
【1-4】φ4×19ナベドリルネジ		4	4

【2】 アルミ主柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数
笠木用アルミ主柱（ベース仕様）		1
笠木取付金具		2
クッション材		2
【2-1】φ4×16サラタッピン3種 D=6		4
【2-2】φ5×40ナベタッピン2種 G=5		4
【2-3】φ4×19ナベドリルネジ		4

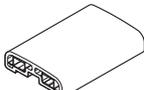
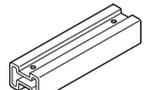
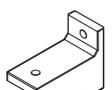
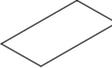
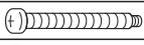
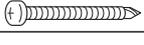
【3】 主柱セット・埋込仕様

名 称	略 図	員 数
笠木用埋込主柱		1
笠木取付金具		2
【3-1】φ4×16サラタッピン3種		4
【3-2】φ4×19ナベドリルネジ		4

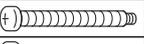
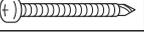
【4】 ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数		
		大引き 固定用	床板 補強材 固定用	床板 固定用
ベースプレート		1	1	1
フェンスー 大引き固定アングル		2	—	—
フェンス固定アングル		—	—	2
【4-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	—	—
【4-2】φ5×60ナベドリルネジ		6	6	5
【4-3】M5×60トラス小ネジ		—	—	2

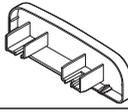
【5】 笠木・下棧セット

名 称	略 図	員 数			
		W750		W1200	
		1スパン	2スパン	1スパン	2スパン
笠木		1	1	1	1
下棧		1	2	1	2
下棧受け部品		2	4	2	4
ゲージプレートD		1	1	1	1
修正用研磨紙A		1	1	1	1
クッション材		4	8	6	12
【5-1】φ5×25ナベタッピン3種		2	4	2	4
【5-2】φ4×25ナベドリルネジ		4	8	4	8

【6】 切詰用笠木下棧取付金具セット

名 称	略 図	員 数
下棧受け部品		2
【6-1】φ5×25ナベタッピン3種		2
【6-2】φ4×25ナベドリルネジ		4

【7】 笠木端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
笠木端部キャップ		2
【7-1】φ4×16サラドリルネジ		4
取付説明書〈E204〉	—	1
取扱説明書〈UE057〉	—	1

【8】 笠木中間部カバーセット

オプション

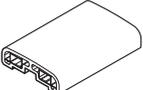
名 称	略 図	員 数
笠木中間部カバー		1
【8-1】φ4×12ナベタッピン1種		2

【9】 笠木90° コーナー部カバーセット

オプション

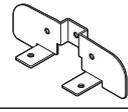
名 称	略 図	員 数
笠木コーナーカバー		1
【9-1】φ4×12ナベタッピン1種		1
【9-2】φ4×16サラタッピン1種		1

【10】 笠木セット

名 称	略 図	員 数			
		W750		W1200	
		1スパン	2スパン	1スパン	2スパン
笠木		1	1	1	1
ゲージプレートC		1	1	1	1
修正用研磨紙A		1	1	1	1

【11】 段違い笠木取付金具セット

オプション

名 称	略 図	員 数
段違い笠木取付金具		1
【11-1】φ4×19ナベドリルネジ		1
【11-2】φ3.8×20ナベ特殊ネジ		2

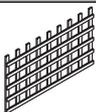
【12】 ラチスパネルセット (密目タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		W750	W1200
ラチスパネル		1	1

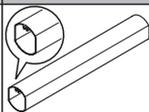
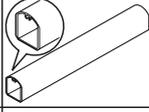
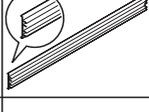
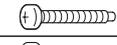
【13】 ラチスパネルセット (粗目タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		W750	W1200
ラチスパネル		1	1

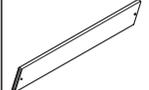
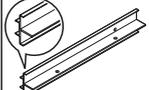
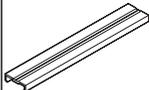
【14】 井桁格子パネルセット

名 称	略 図	員 数			
		W750		W1200	
		T-08	T-10	T-08 T-12	T-06 T-10
井桁格子パネル		1	1	1	1
格子パネル振れ止め		2	-	2	-

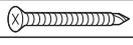
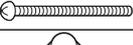
【15】 横ビームパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		W750 W1200	W750 W1200
		T-08	T-10
ビーム棧		2	3
下段用ビーム棧		1	1
ビーム棧枠材		2	2
ビーム棧枠材受け金具		2	2
クッション材		2	2
【15-1】φ4×20ナベドリルネジ		6	8
【15-2】φ4×19ナベドリルネジ		2	2
【15-3】φ4×30ナベドリルネジ		4	4

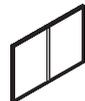
【16】 クロスパネルセット

名 称	略 図	員 数
		W1200
クロス棧		2
クロス棧枠材		2
下棧溝隠し材		1
クッション材		2

【16】 クロスパネルセットつづき

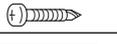
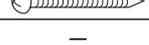
名 称	略 図	員 数
		W1200
【16-1】φ5×30トラスタッピン3種		4
【16-2】φ4×30サラドリル D=6		4
【16-3】M4×45トラス小ネジ		1
【16-4】M5六角袋ナット		4
【16-5】M5平座金		8
【16-6】M5バネ座金		4
【16-7】M4六角袋ナット		1
【16-8】M4平座金		2
【16-9】M4バネ座金		1

【17】 プライバシーパネルセット

名 称	略 図	員 数
		W1200
ポリカパネル		1

【18】 LED照明ユニット

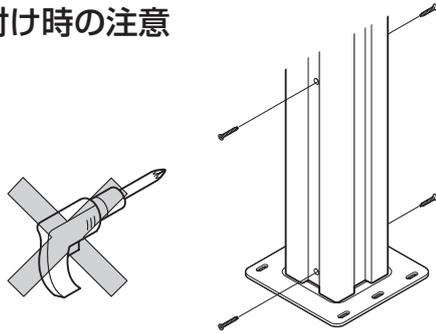
オプション

名 称	略 図	員数
LED照明ユニット本体		1
取付金具		2
【18-1】φ4×13ナベドリルネジ		2
【18-2】φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2
【18-3】φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2
取付説明書〈Z217〉	-	1
取扱説明書〈UC015〉	-	1

※生地色は、配線カバーがシャイングレーの場合に使用します。
 ※ブロンズ色は、配線カバーがマイルドブラック、オータム
 ブラウンの場合に使用します。

1. 施工時の重要注意事項

人工木の組付け時の注意

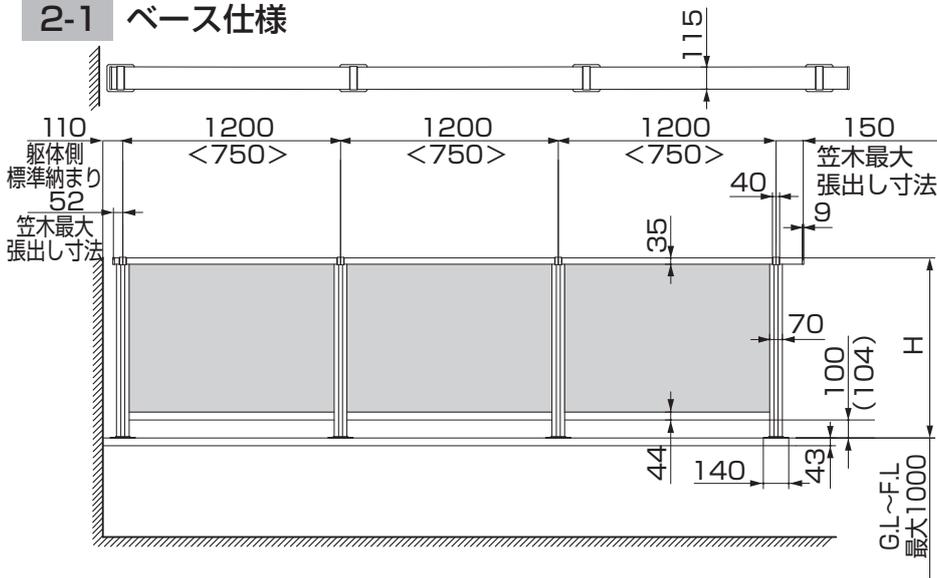


ポイント

- 人工木の取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。

2. 基本寸法図

2-1 ベース仕様



補足

- ()はクロスパネルの場合です。
- <>はパネルW750の場合です。

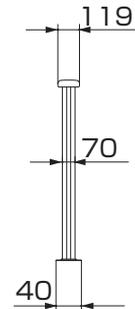
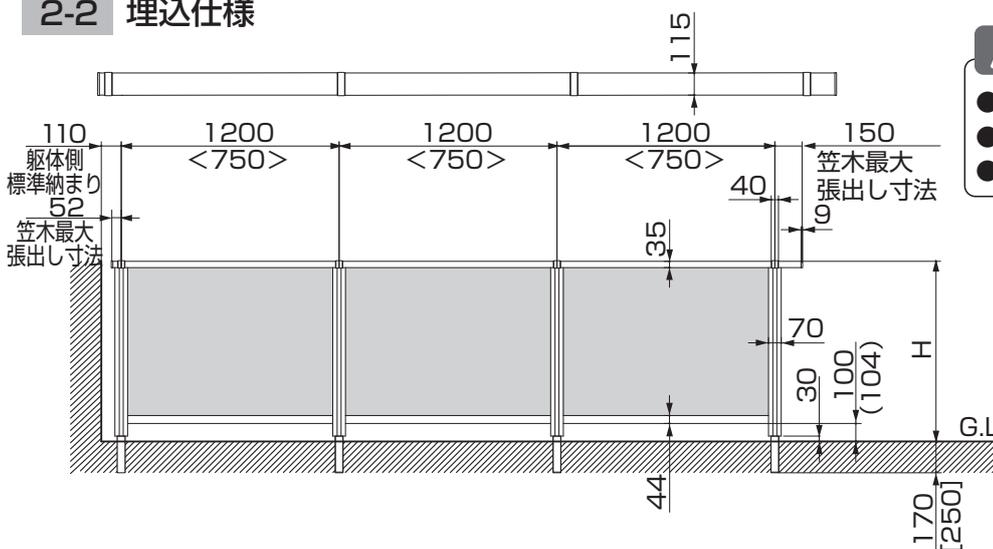


表2-1

呼称	H寸法
T-6	600
T-8	800
T-10	1000
T-12	1200

2-2 埋込仕様



補足

- ()はクロスパネルの場合です。
- []はT-12の場合です。
- <>はパネルW750の場合です。

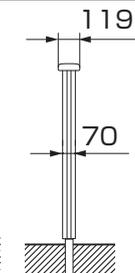
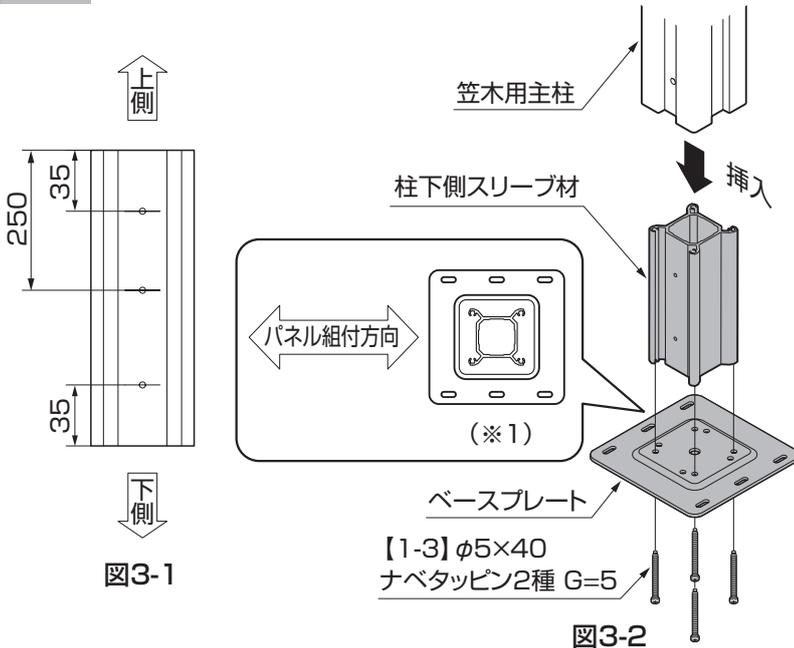


表2-2

呼称	H寸法
T-6	600
T-8	800
T-10	1000
T-12	1200

3. 柱の準備

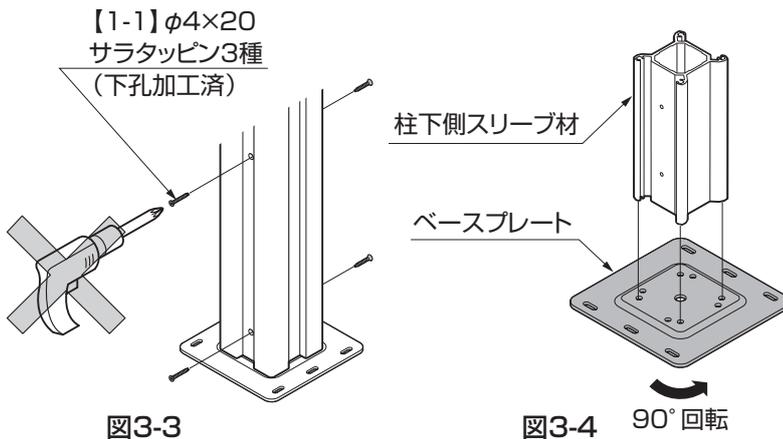
3-1 笠木用主柱（ベース仕様）の場合



補足

- 柱には上下の区別があります。
柱下側スリーブ材がテープ止めされている側が下になります。
- T-12柱スリーブ材には上下の区別があります。(図3-1参照)

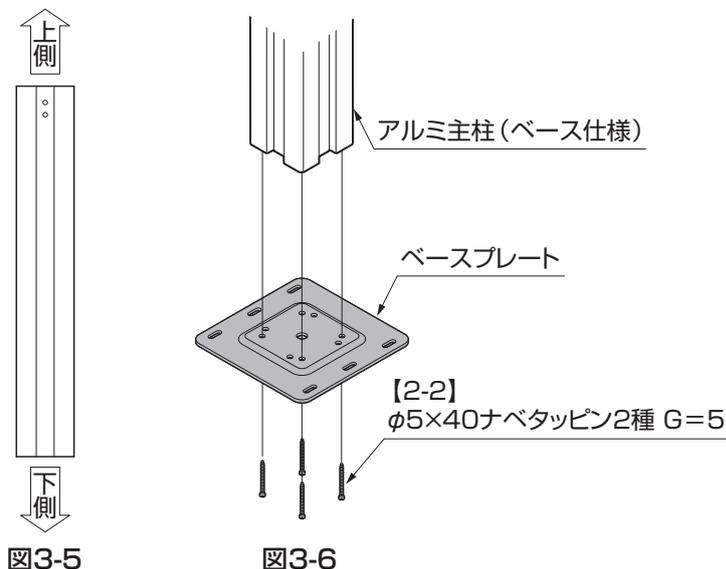
- ①ベースプレートの裏側から柱下側スリーブ材を、【1-3】で4ヶ所ベースプレートの向きに注意して固定してください。(※1)
- ②笠木用主柱を、ベースプレートに組付けた柱下側スリーブ材へ挿入してください。(図3-2参照)
- ③笠木用主柱の孔位置から【1-1】で、笠木用主柱と柱下側スリーブ材を固定してください。(図3-3参照)



ポイント

- 笠木用主柱の取付には電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。
- デッキ側面に柱を組付ける場合、ベースプレートを90°回転して固定してください。(図3-4参照)

3-2 アルミ主柱（ベース仕様）の場合



補足

- 柱には上下の区別があります。(図3-5参照)
- ①ベースプレートの裏側から笠木用アルミ主柱（ベース仕様）を【2-2】で、4ヶ所固定してください。

4. 柱の組付け

4-1 ベース柱

(1) 正面床板固定の場合

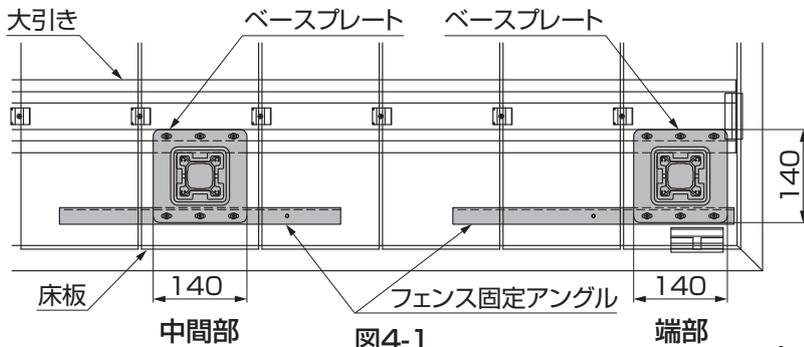
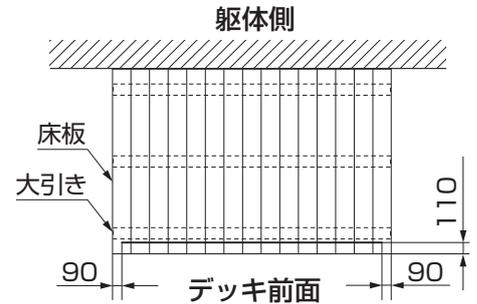


図4-1



柱設置可能範囲（柱芯寸法）

図4-2

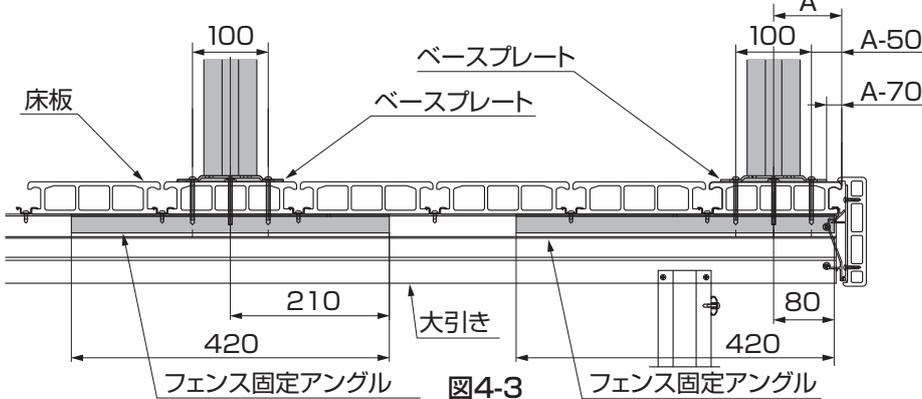


図4-3

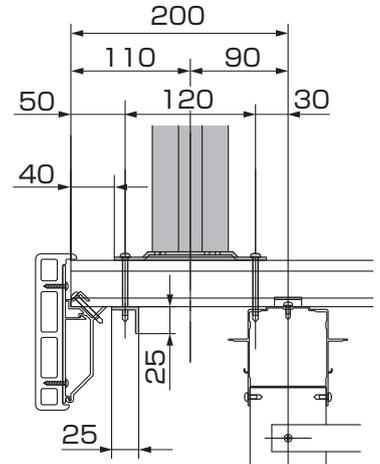


図4-4

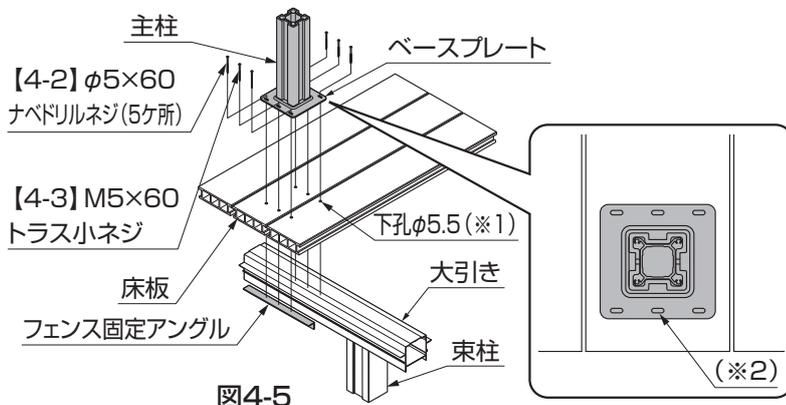
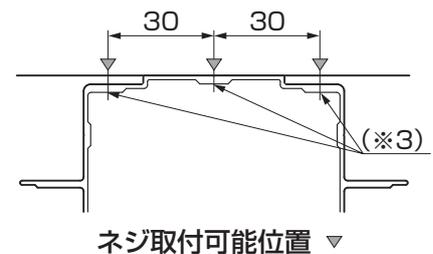


図4-5



ネジ取付可能位置 ▼

図4-6

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-1、図4-2、図4-3、図4-4を参照して取付けてください。
- 図4-3のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-3のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。（※1）

注意

- 大引きにネジを取付ける際、図の位置3ヶ所（※3）以外に取付けしないでください。

④ベースプレートを【4-2】で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。

⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【4-3】で取付けてください。（※2）

⑥【4-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。

4. つづき

(2) 正面大引き固定の場合

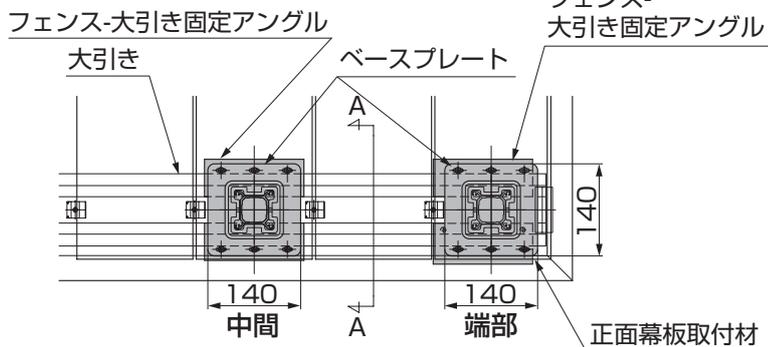


図4-7

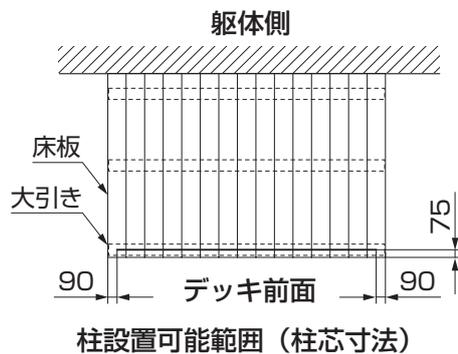


図4-8

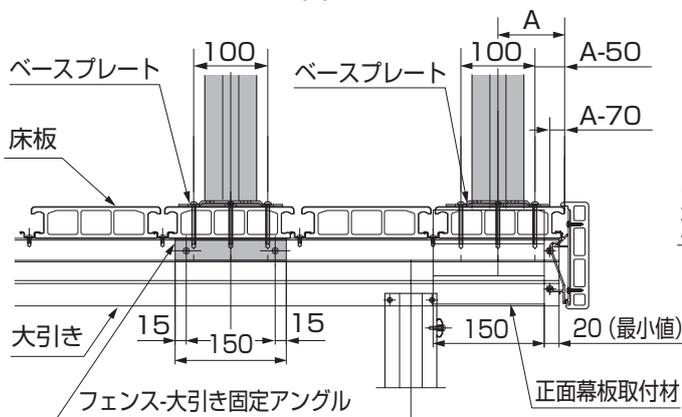


図4-9

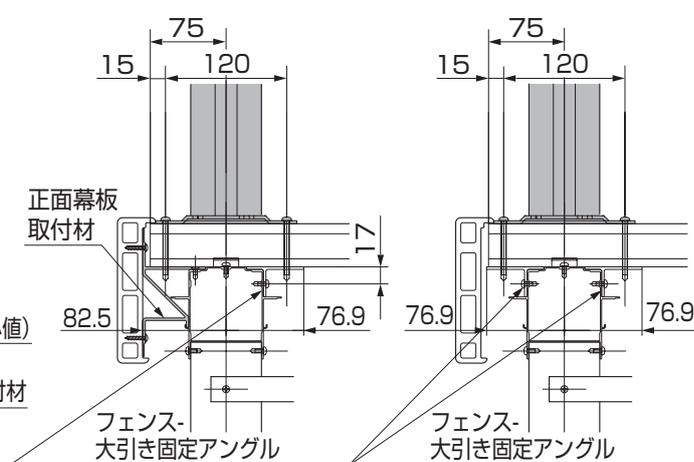


図4-10 A-A矢視図

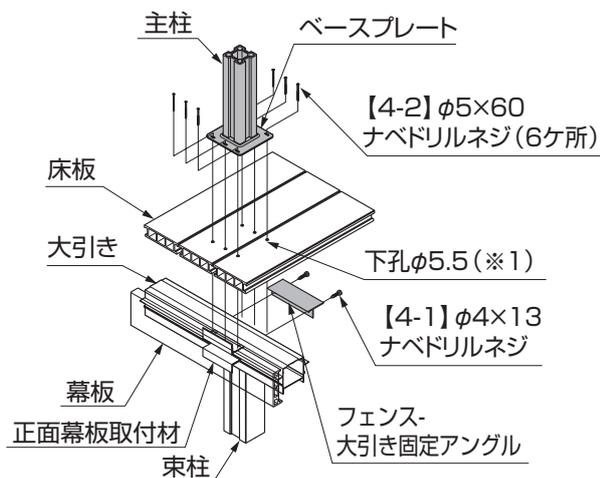


図4-11 端部

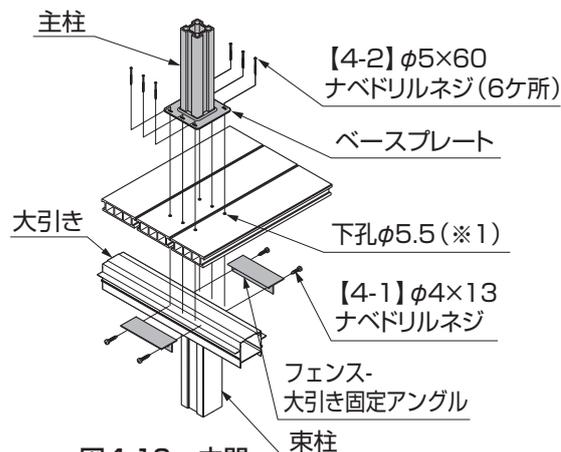


図4-12 中間

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-7、図4-8、図4-9、図4-10を参照して取付けてください。
- 図4-9のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-9のA寸法の最大値は、フェンス-大引き固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。（※1）

④大引きにフェンス-大引き固定アングルを、【4-1】で取付けてください。

⑤ベースプレートを【4-2】で、床板の下の幕板固定金具またはフェンス-大引き固定アングルまで取付けてください。

4. つづき

(3) 側面床板固定の場合

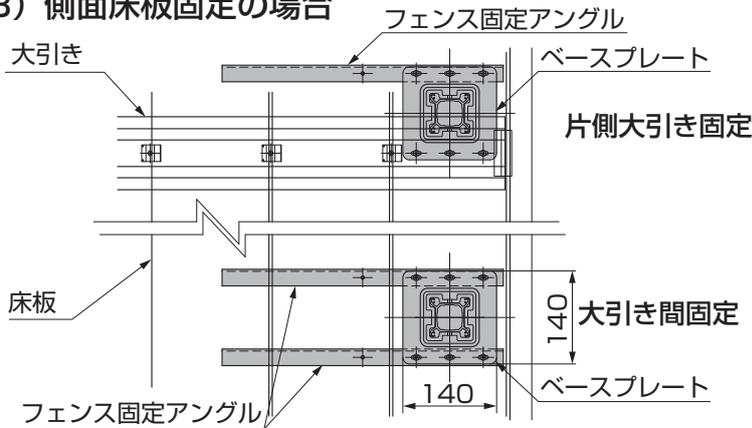


図4-13

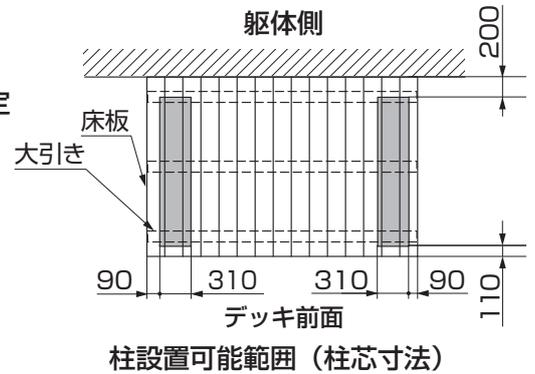


図4-14

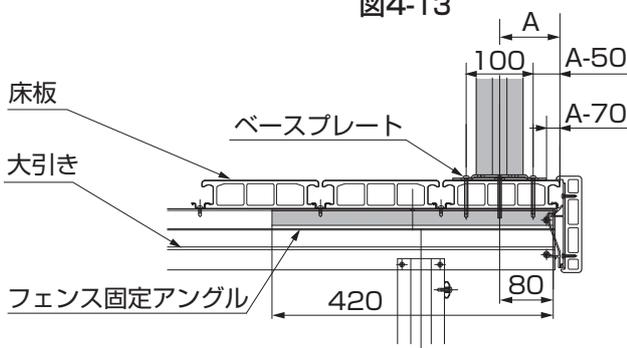


図4-15

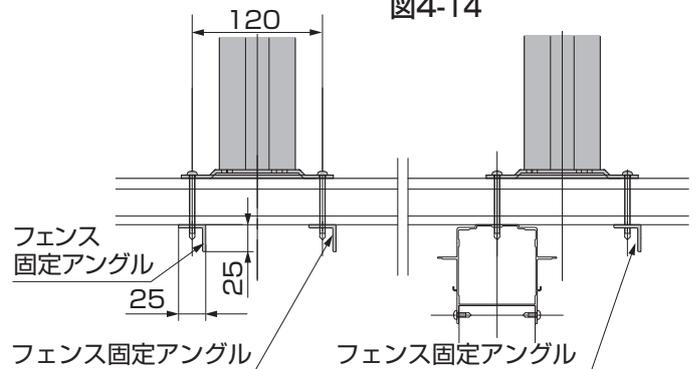


図4-16

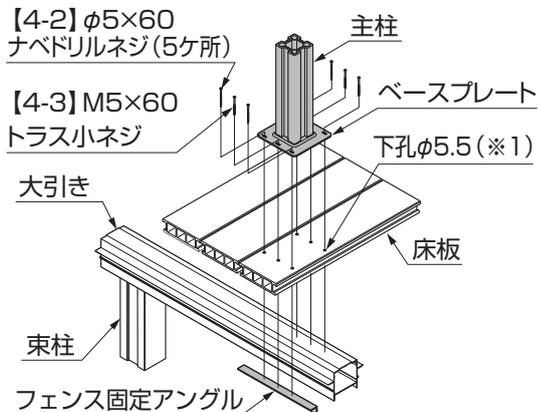


図4-17 片側大引き固定

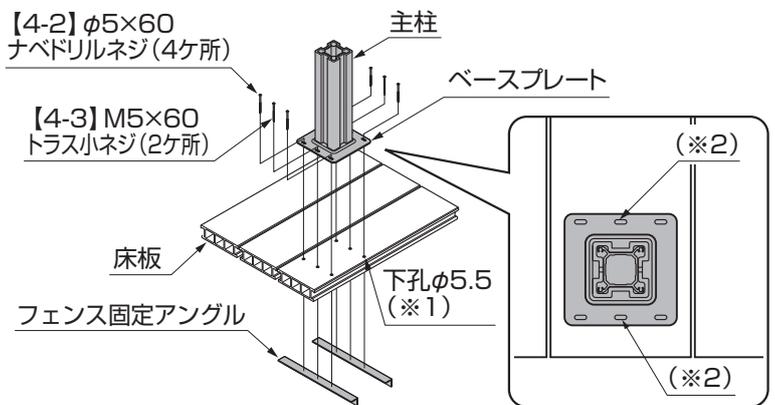


図4-18 大引き間固定

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- 片側を大引きに固定して立てる場合、大引き間に立てる場合には、図4-13、図4-14、図4-15、図4-16を参照して取付けてください。
- 図4-15のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-15のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④片側大引き固定の場合は、「4-1 ベース柱(1)正面床板固定の場合」の端部への取付けを参照してください。

⑤大引き間固定の場合、デッキの中心の下孔と、フェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【4-3】で2ヶ所取付けてください。(※2)

⑥ベースプレートを【4-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ヶ所取付けてください。

4. つづき

(4) 側面床板補強材固定の場合

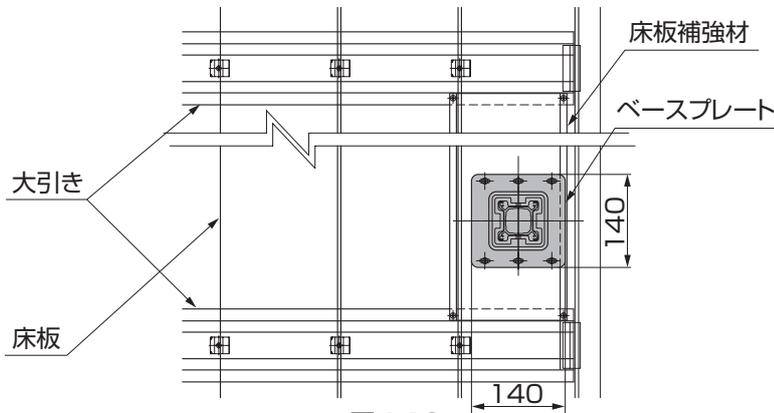


図4-19

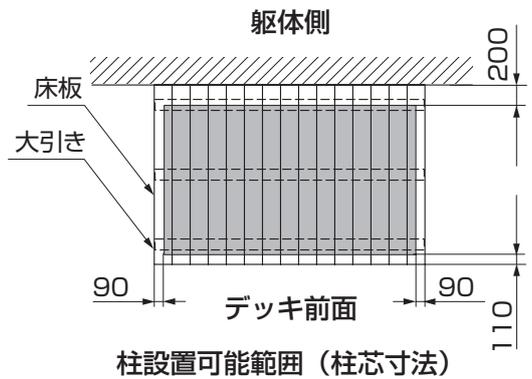


図4-20

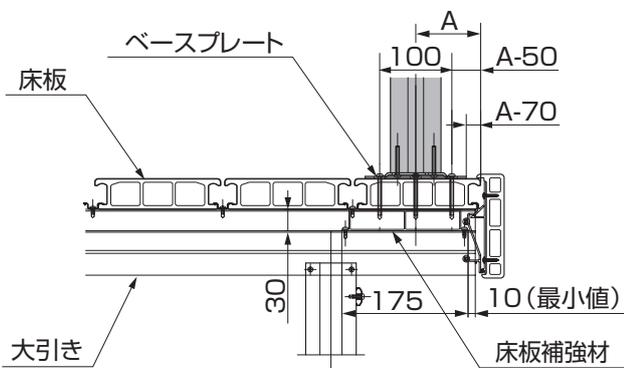


図4-21

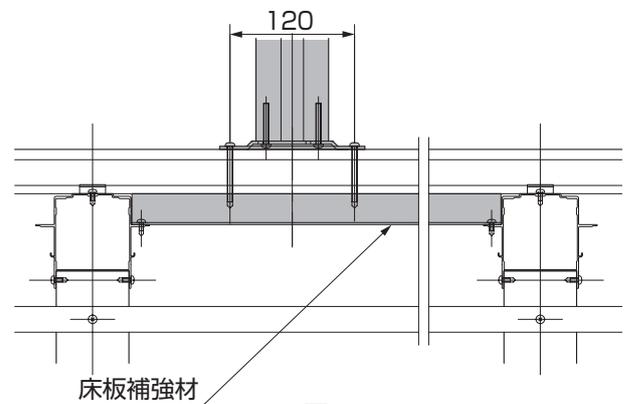


図4-22

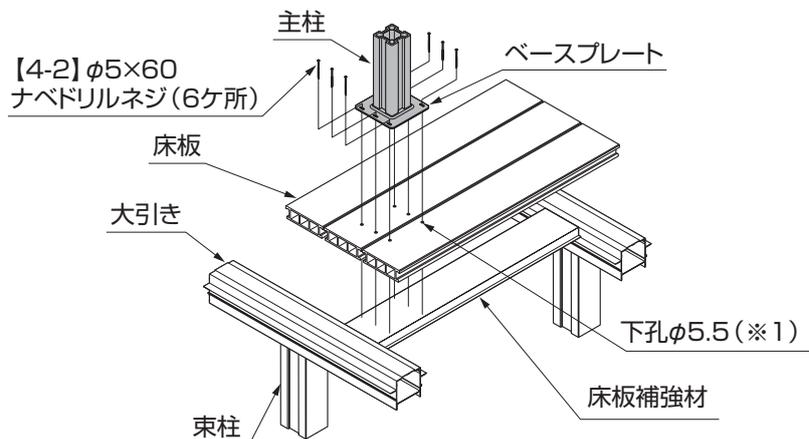


図4-23

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキ施工前に補強材を取り付けてください。
- デッキに図4-19、図4-20、図4-21、図4-22を参照して取付けてください。
- 図4-21のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-21のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

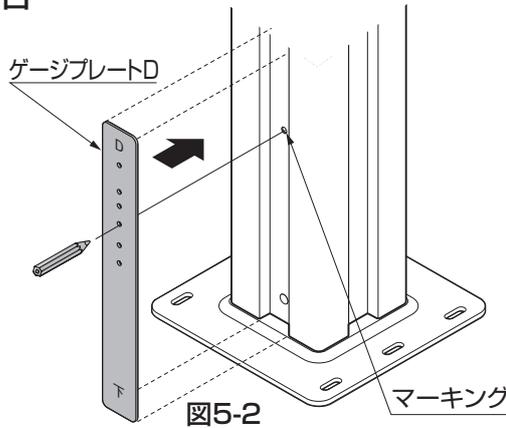
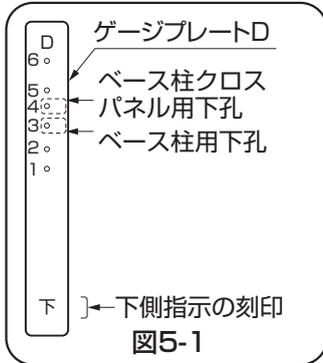
③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④ベースプレートを【4-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

5. 下棧受け部品の組付け

※下棧の組付位置は、所定の高さから変更できません。
 ※横ビームパネルには使用しない作業です。

5-1 ベース仕様の場合



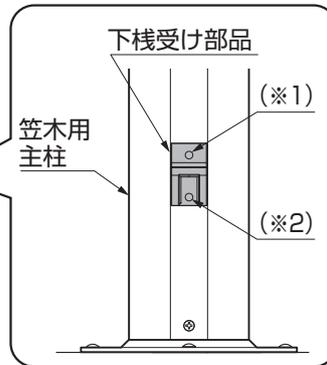
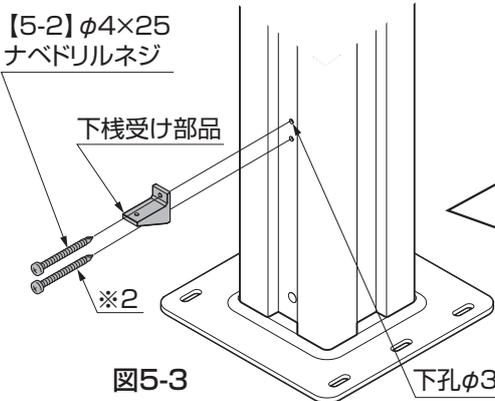
ポイント

●ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図5-1参照)

①パネルを入れる側の面の柱の底面に、ゲージプレートDの下面を合わせ、印をつけてください。(図5-2参照)

ポイント

●クロスパネルは4の孔を使用してください。それ以外のパネルは3の孔を使用してください。(図5-1参照)

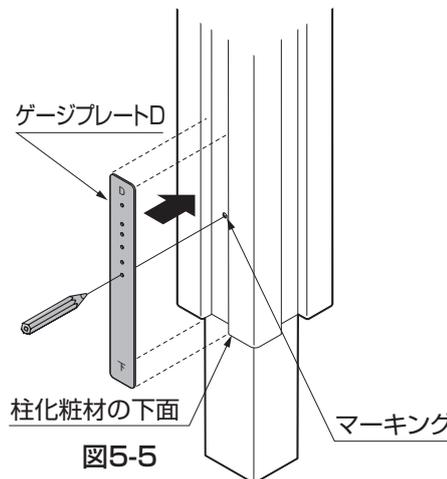
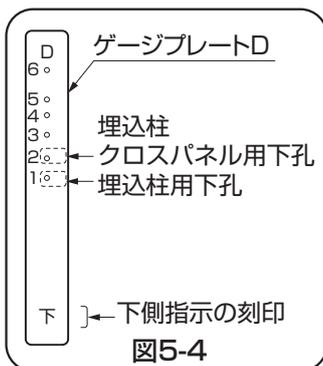


②印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下孔をあけてください。

③下棧受け部品の上部の孔(※1)と、支柱溝部にあけた孔を合わせて、【5-2】で下棧受け部品を固定してください。

④下部の孔も同様に、φ3の下孔をあけて【5-2】で固定してください。(※2)

5-2 埋込仕様の場合



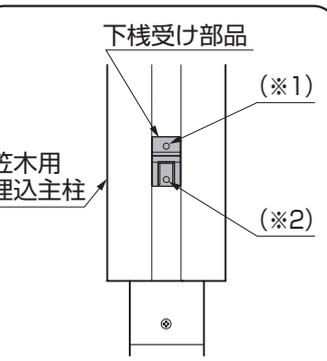
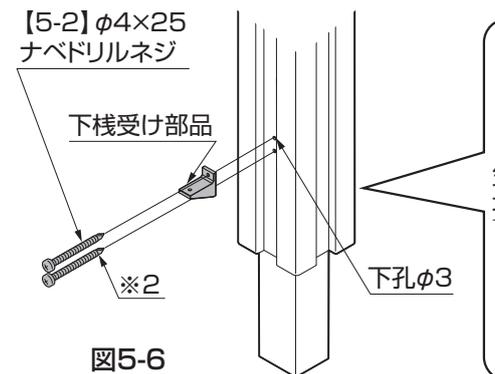
ポイント

●ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図5-4参照)

①パネルを入れる側の面の柱の底面に、ゲージプレートDの下面を合わせ、印をつけてください。(図5-5参照)

ポイント

●クロスパネルは2の孔を使用してください。それ以外のパネルは1の孔を使用してください。(図5-4参照)

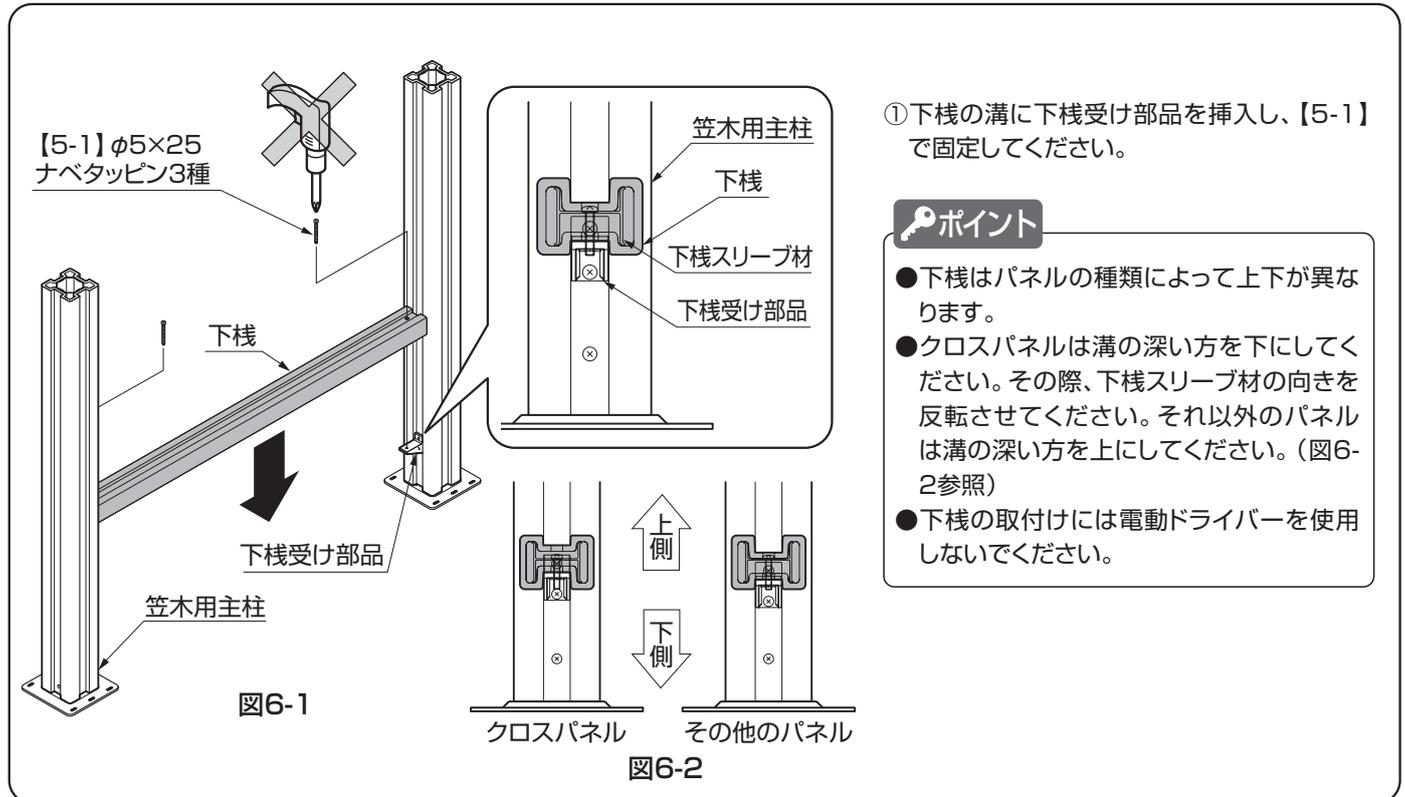


②印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下孔をあけてください。

③下棧受け部品の上部の孔(※1)と、支柱溝部にあけた孔を合わせて、【5-2】で下棧受け部品を固定してください。

④下部の孔も同様に、φ3の下孔をあけて【5-2】で固定してください。(※2)

6. 下棧の取付け ※横ビームパネルには使用しない作業です。

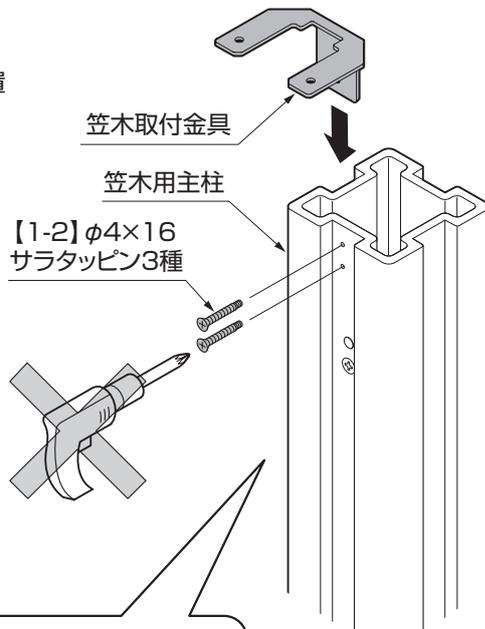
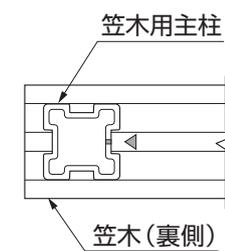


7. 笠木取付金具の取付け

7-1 笠木取付金具の孔加工

(1) 端部の場合

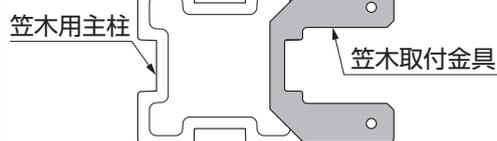
笠木取付金具の取付位置



①笠木用主柱に笠木取付金具を、【1-2】で固定してください。

ポイント

- 笠木取付金具の取付けは電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。



7. つづき

(2) 中間の場合

笠木取付金具の取付位置

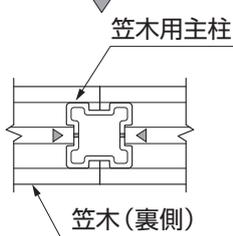


図7-3

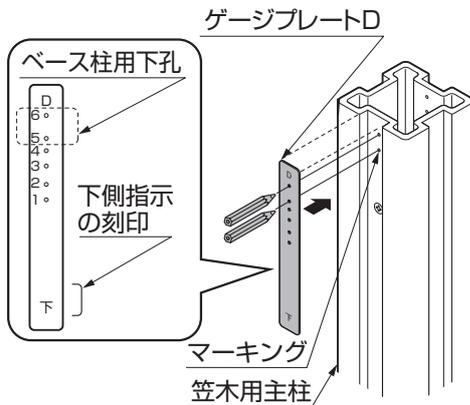


図7-4

- ① 笠木取付金具の取付け位置は、図7-3を参照して下孔をあけてください。

ポイント

- ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下にしてください。(図7-4参照)

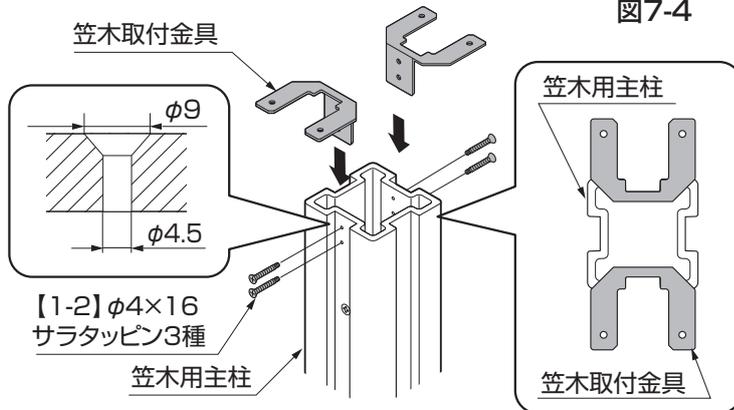


図7-5

- ② 笠木用主柱の上面とゲージプレートDの上面を合わせて5、6の孔に印をつけてください。

- ③ 印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ4.5の下孔とφ9サラ取り加工をしてください。

- ④ 笠木用主柱に笠木取付金具を、【1-2】で固定してください。

(3) コーナーの場合

笠木取付金具の取付位置

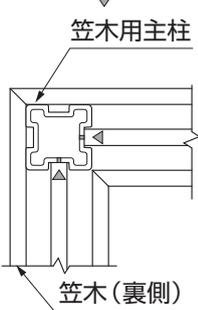


図7-6

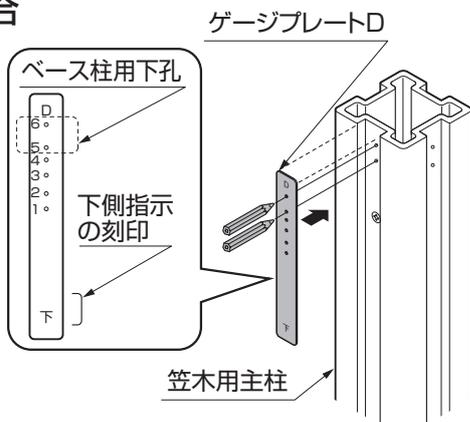


図7-7

- ① 笠木取付金具の取付け位置は、図7-6を参照して下孔をあけてください。

ポイント

- ゲージプレートDには上下があります。「下」と刻印している側を下にしてください。(図7-7参照)

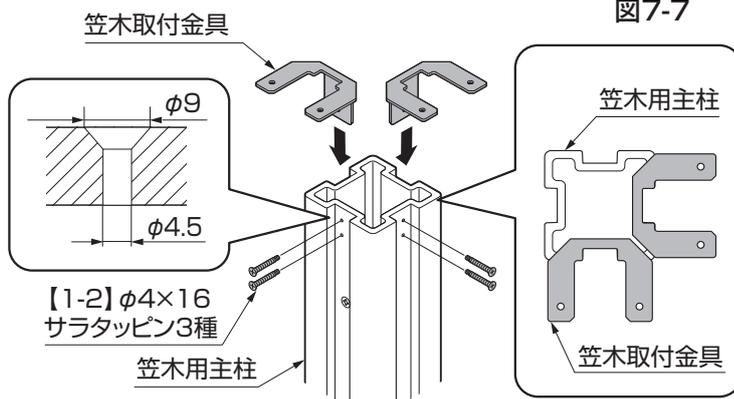


図7-8

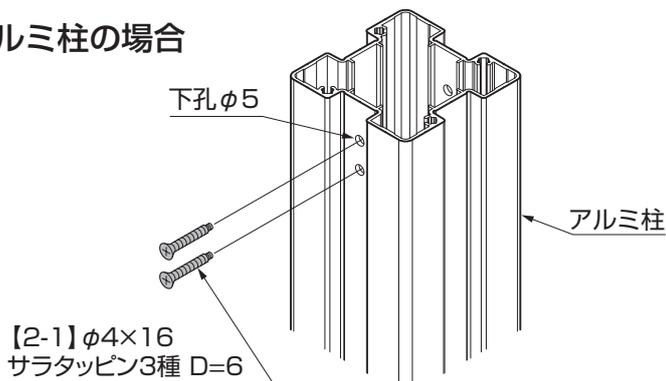
- ② 笠木用主柱の上面とゲージプレートDの上面を合わせて5、6の孔に印をつけてください。

- ③ 印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ4.5の下孔とφ9サラ取り加工をしてください。

- ④ 笠木用主柱に笠木取付金具を、【1-2】で固定してください。

7. つづき

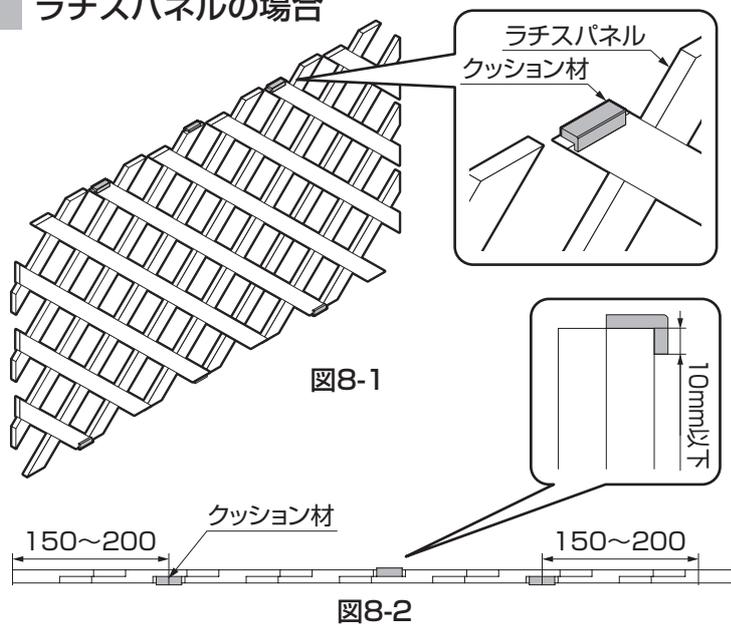
7-2 アルミ柱の場合



- ①アルミ柱に笠木取付金具用の下孔をあける場合、φ5の下孔をあけて【2-1】で固定してください。

8. クッション材の取付け ※ラチスパネルと井桁格子の場合の作業です。

8-1 ラチスパネルの場合

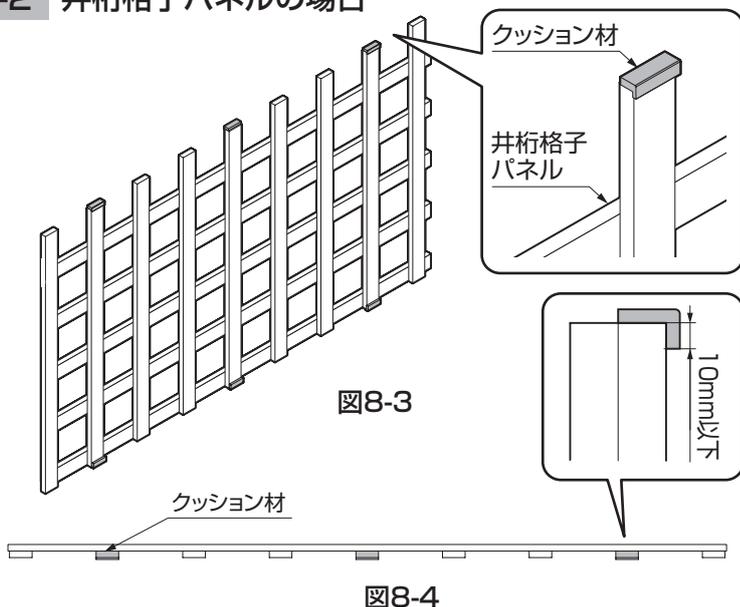


- ①ラチスパネルの両端から約150mm～200mm範囲と中心あたりの小棧に上下6ヶ所、表裏交互に貼り付けてください。
※W750パネルは上下4ヶ所です。

ポイント

- クッション材を貼り付ける際、外側に折り曲げてください。(図8-2参照)

8-2 井桁格子パネルの場合



- ①井桁格子パネルの両端から2つめと中心に、上下6ヶ所の縦小棧に貼り付けてください。
※W750パネルは上下4ヶ所です。

ポイント

- クッション材を貼り付ける際、外側に折り曲げて下さい。(図8-4参照)

9. ラチスパネルおよび笠木の組付け

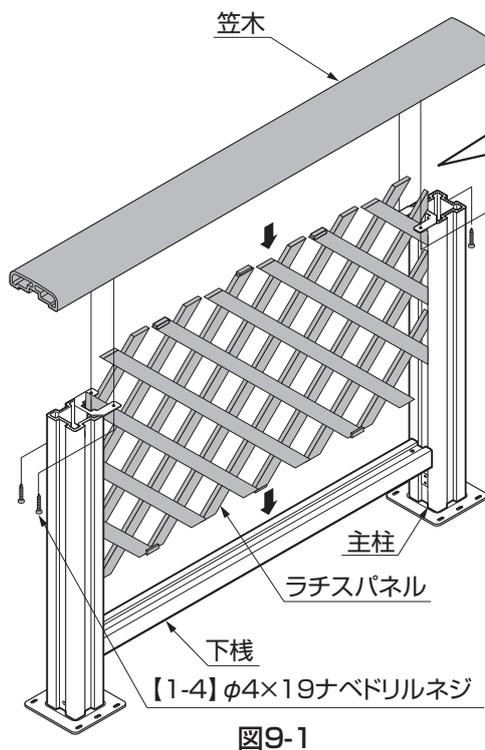


図9-1

- ①主柱と下棧の溝に、ラチスパネルを挿入してください。
- ②笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の取付孔にそって笠木にφ3の下孔をあけてください。
- ③笠木を笠木取付金具に、【1-4】で固定してください。

ポイント

- 笠木の平行および高さを確認して組付けてください。

10. 井桁格子パネルおよび笠木の組付け

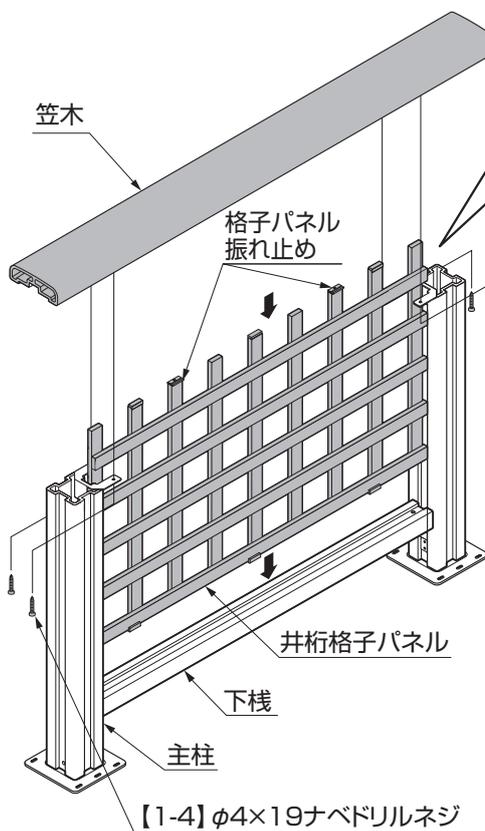


図10-1

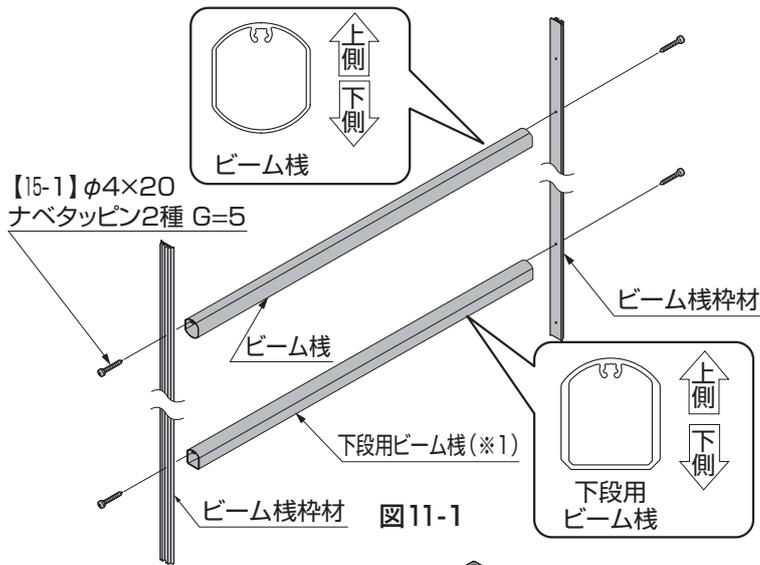
- ①主柱と下棧の溝に、井桁格子パネルを挿入してください。
- ②T-8、T-12の場合、井桁格子パネルの両端から3番目の縦小棧の位置に、格子パネル振れ止めを小棧に取付けてください。(図10-2参照)
- ※W750パネルの場合は、両端より2番目になります。
- ③笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の取付孔にそって笠木にφ3の下孔をあけてください。
- ④笠木を笠木取付金具に、【1-4】で固定してください。

ポイント

- 笠木の平行および高さを確認して組付けてください。

図10-2 T-8、12の作業

11. 横ビームパネルの組付け



- ①ビーム枠材にビームを、【15-1】で固定してください。
- ②両端から1つ目の加工孔以外へ、ビームおよび下段用ビームを固定してください。

ポイント

- サイズによってビームの本数が異なります。
- ビームには上下があります。(図11-1参照)
- T-8、T-10の場合、下段用ビームは下側だけに組付けてください。(※1)

- ③パネルを入れる側の面の柱の底面に、ゲージプレートCの下面を合わせてください。(図11-2参照)

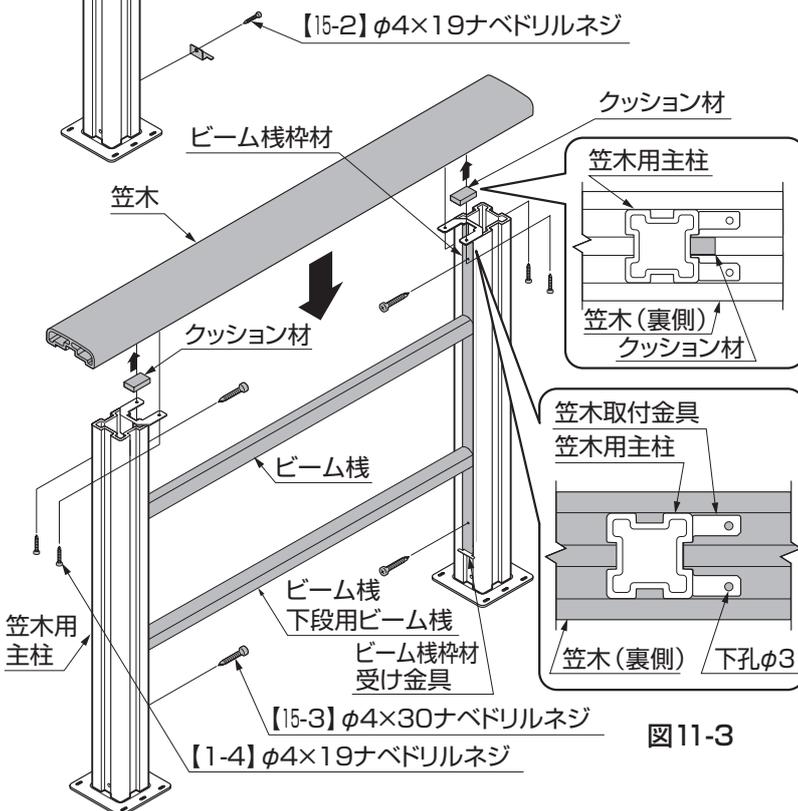
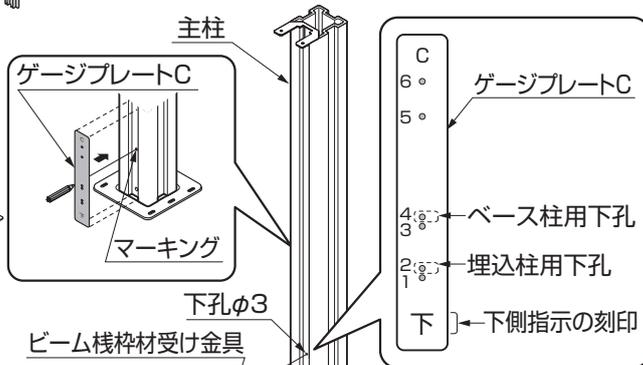
ポイント

- ゲージプレートCには上下があります。「下」と刻印してある側を下に合わせてください。(図11-2参照)

- ④印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下孔をあけてください。
- ⑤ビーム枠材受け金具の下孔にそって支柱に、【15-2】で固定してください。

ポイント

- ベース柱には4の孔を使用してください。埋込柱には2の孔を使用してください。(図11-2参照)



- ⑥笹木の両端の溝にクッション材を貼り付けてください。
- ⑦組付けたビームパネルをスライドさせて取付けてください。
- ⑧笹木を笹木取付金具にあてがい、笹木取付金具の下孔にそって笹木に下孔をあけてください。
- ⑨笹木を笹木取付金具に、【1-4】で固定してください。
- ⑩ビーム枠材取付ネジ位置に、φ3の下孔をあけ、【15-3】で固定してください。

ポイント

- 笹木の平行および高さを確認して組付けてください。

12. クロスパネルの組付け

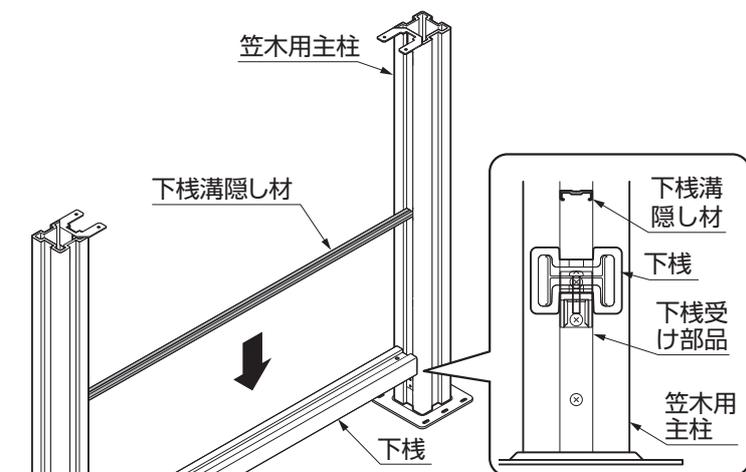


図12-1

①下棧溝隠し材を笠木用主柱にスライドさせて、下棧の溝に取付けてください。

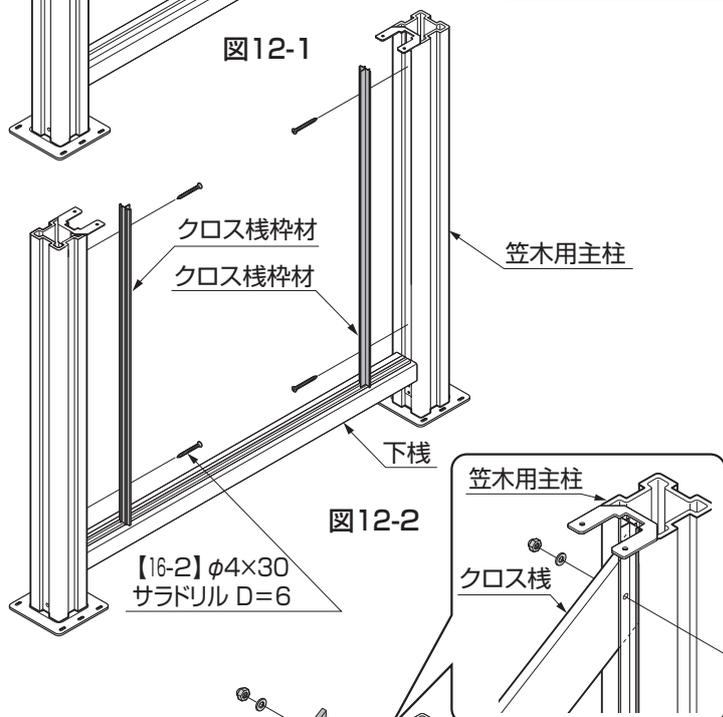


図12-2

②クロス棧材を笠木用主柱溝部に、下側のみφ3の下孔をあけ、【16-2】で取付けてください。

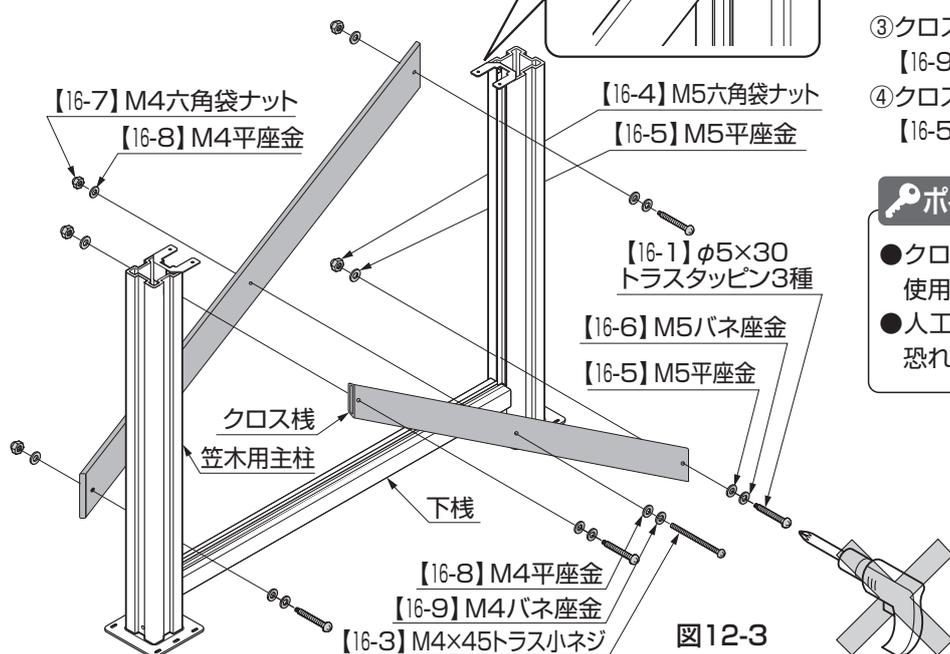


図12-3

③クロス棧の中心に【16-3】、【16-7】、【16-8】、【16-9】で固定してください。

④クロス棧材にクロス棧を【16-1】、【16-4】、【16-5】、【16-6】で4ヶ所取付けてください。

ポイント

- クロス棧の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。

12. つづき

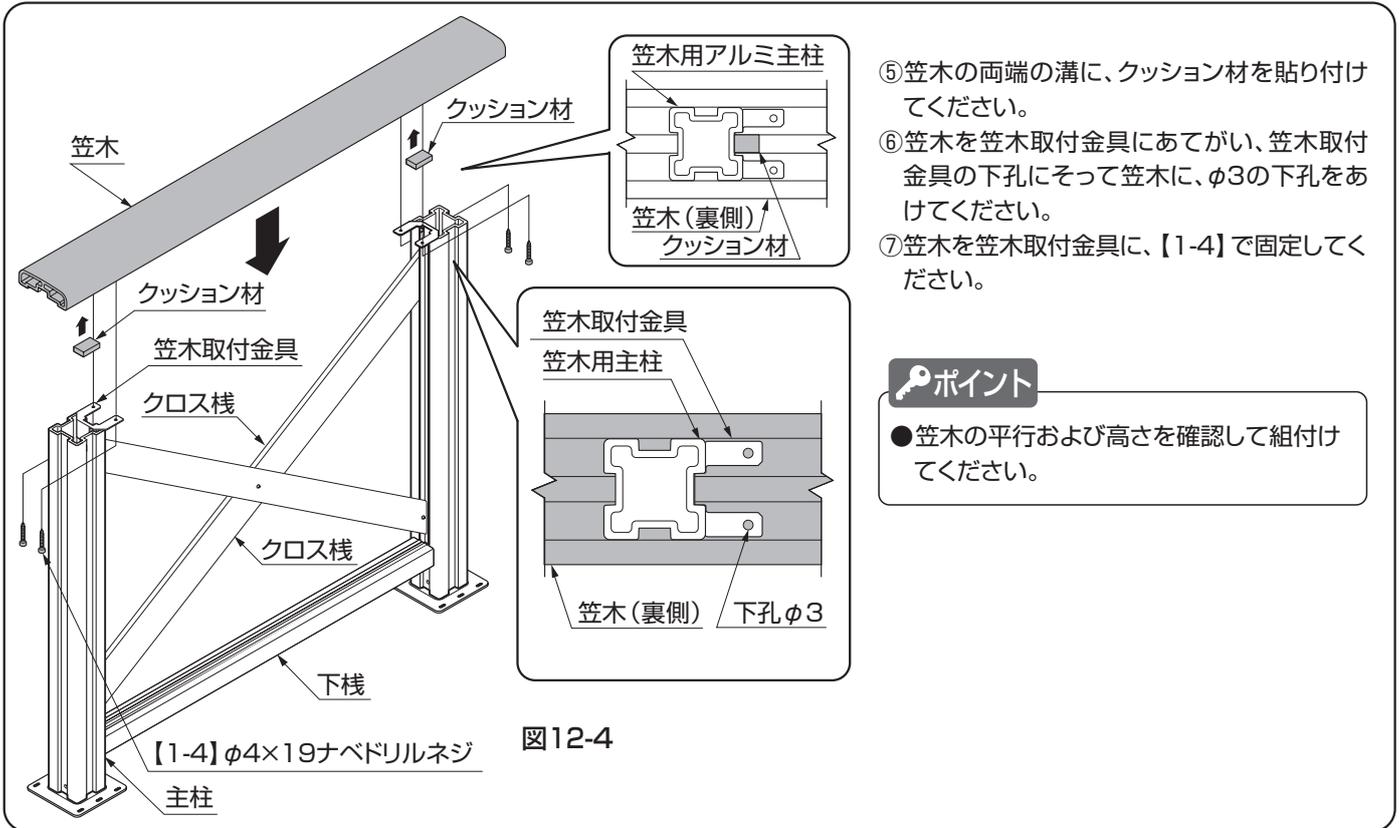


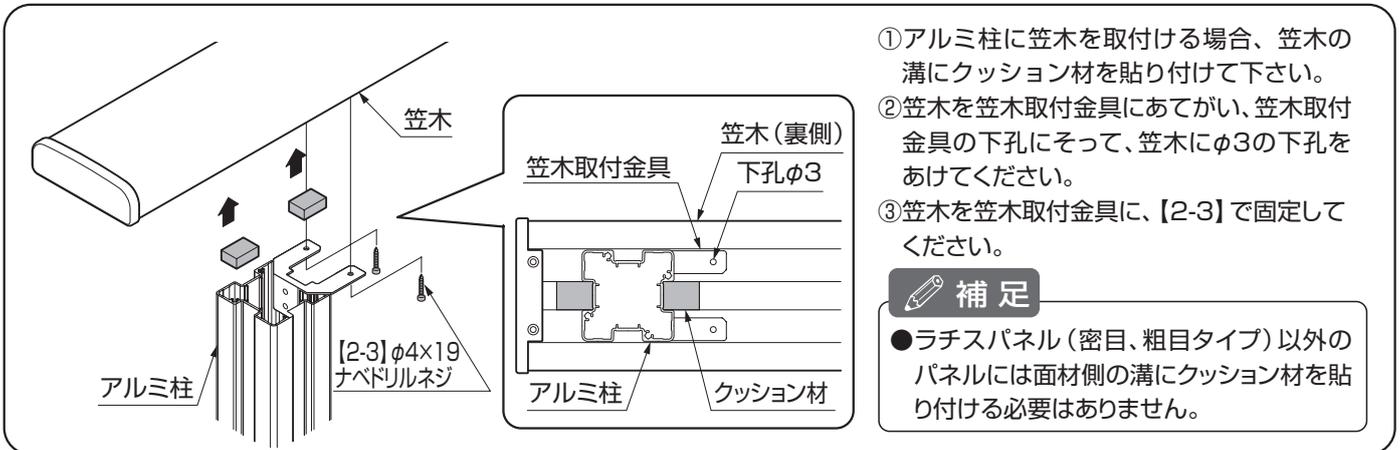
図12-4

- ⑤ 笠木の両端の溝に、クッション材を貼り付けてください。
- ⑥ 笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の下孔にそって笠木に、φ3の下孔をあけてください。
- ⑦ 笠木を笠木取付金具に、【1-4】で固定してください。

ポイント

- 笠木の平行および高さを確認して組付けてください。

13. アルミ柱の取付け

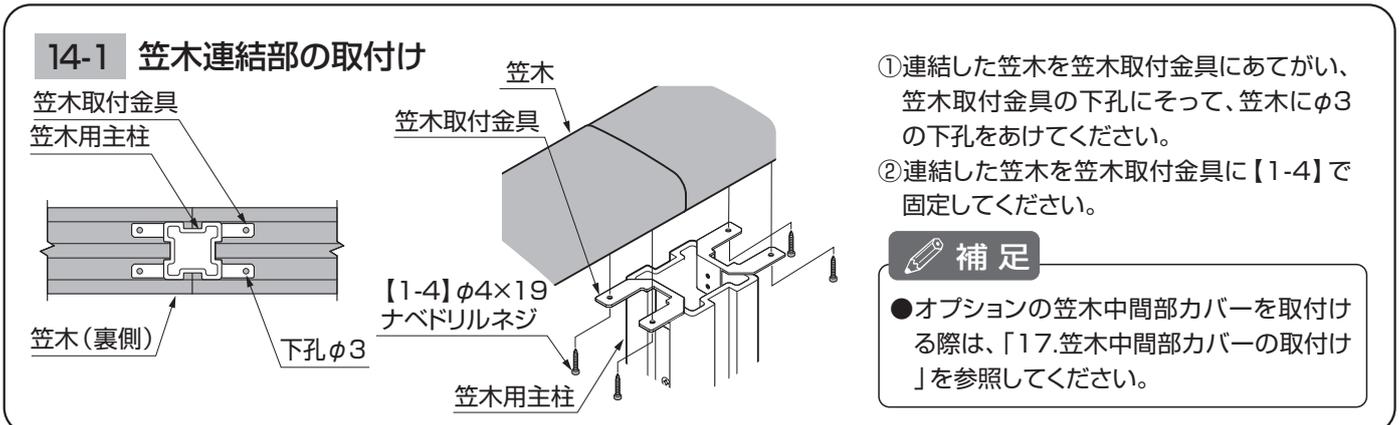


- ① アルミ柱に笠木を取付ける場合、笠木の溝にクッション材を貼り付けて下さい。
- ② 笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の下孔にそって、笠木にφ3の下孔をあけてください。
- ③ 笠木を笠木取付金具に、【2-3】で固定してください。

補足

- ラチスパネル（密目、粗目タイプ）以外のパネルには面材側の溝にクッション材を貼り付ける必要はありません。

14. 連結部の取付け



14-1 笠木連結部の取付け

- ① 連結した笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の下孔にそって、笠木にφ3の下孔をあけてください。
- ② 連結した笠木を笠木取付金具に【1-4】で固定してください。

補足

- オプションの笠木中間部カバーを取付ける際は、「17. 笠木中間部カバーの取付け」を参照してください。

14. つづき

14-2 笠木コーナー部の取付け

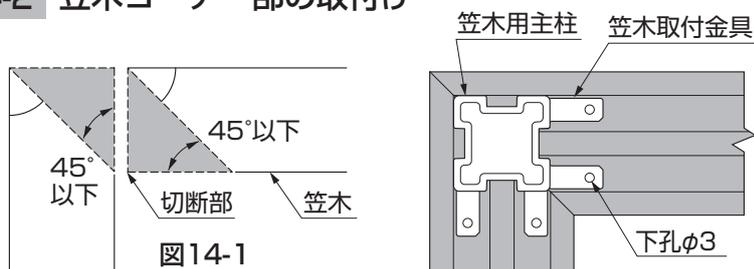


図14-1

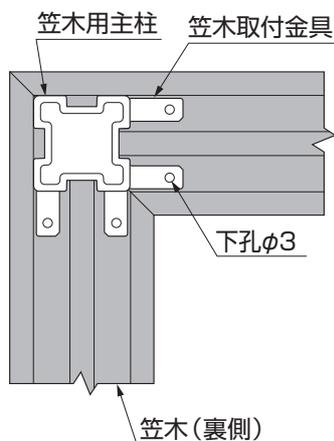


図14-2

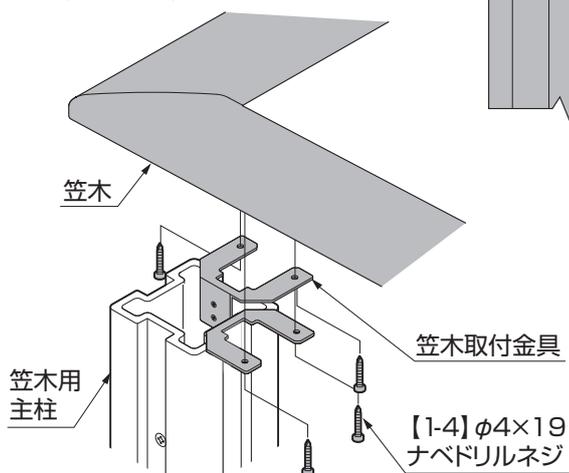


図14-3

- ① 笠木の加工は、端部を45°カットしてください。
- ② カットした笠木を笠木取付金具にあてがい、笠木取付金具の下孔にそって笠木にφ3の下孔をあけてください。
- ③ 連結した笠木を笠木取付金具に、【1-4】で固定してください。

補足

- オプションの笠木90°コーナー部カバーを取付ける際は、「16. 笠木90°コーナー部カバーの取付け」を参照してください。

15. 段違い笠木取付金具の取付け **オプション**

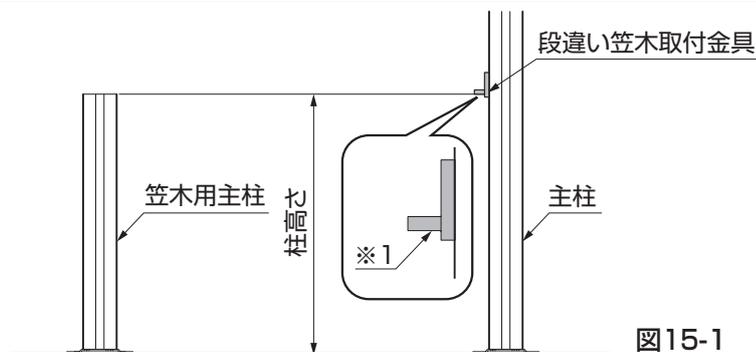


図15-1

- ① 柱の高さを実測し、段違い笠木取付金具を合わせてφ3の下孔をあけて【11-1】で固定してください。

ポイント

- 柱の上面と段違い笠木取付金具の下面(※1)が同じ高さになる様に、取付けてください。

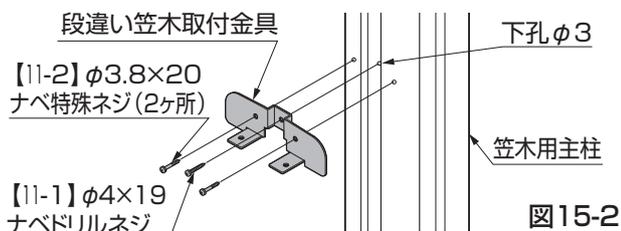


図15-2

- ② 残りの段違い笠木取付金具の取付孔2ヶ所に、【11-2】で固定してください。
- ③ 笠木を段違い笠木取付金具にあてがい、段違い笠木取付金具の下孔にそって、笠木にφ3の下孔をあけてください。

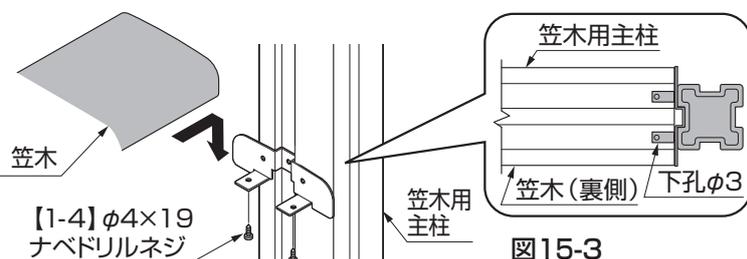
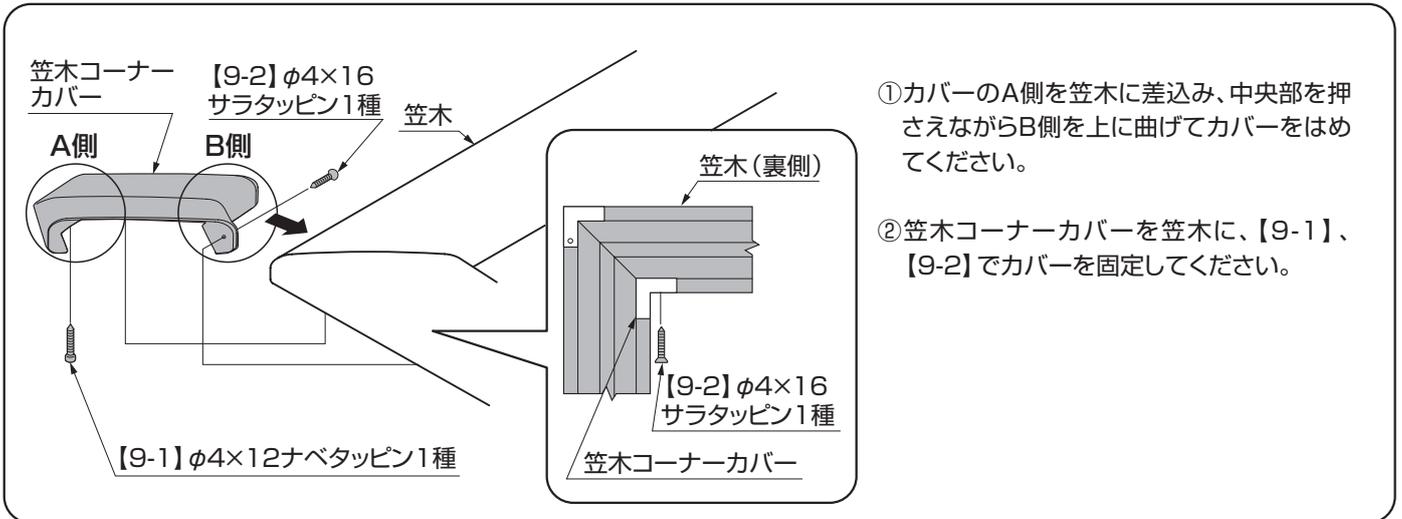


図15-3

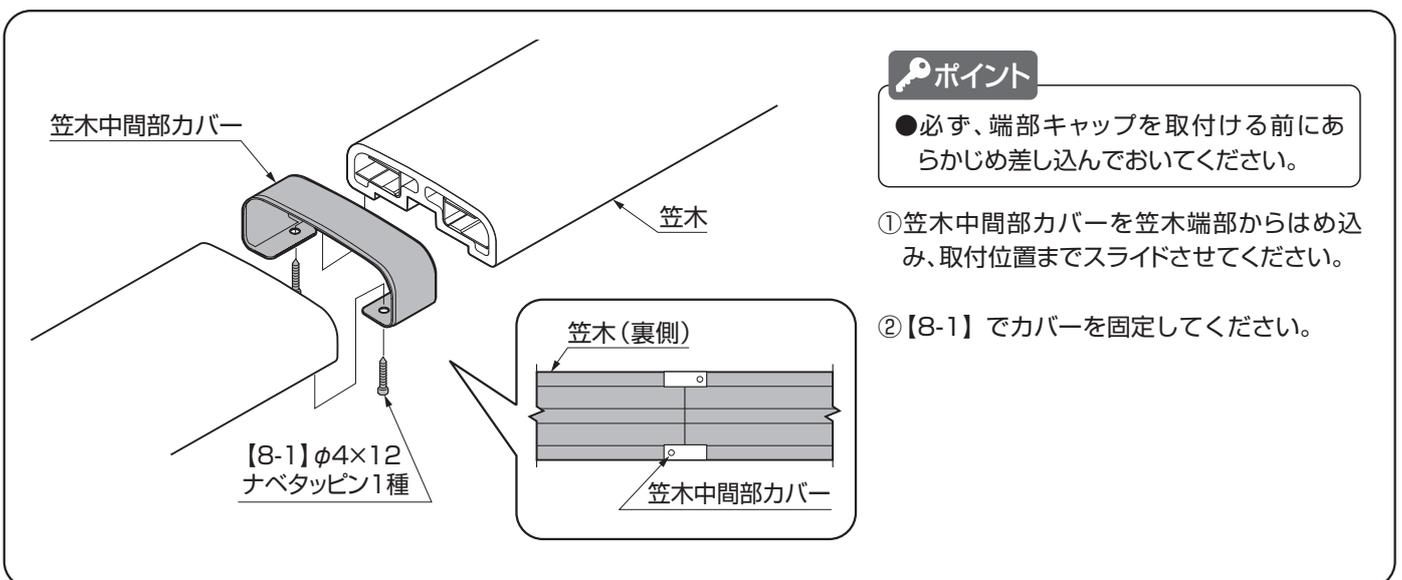
- ④ 連結する笠木を段違い笠木取付金具に、【1-4】で固定してください。

16. 笠木90° コーナー部カバーの取付け **オプション**



- ①カバーのA側を笠木に差込み、中央部を押さえながらB側を上に向けてカバーをはめてください。
- ②笠木コーナーカバーを笠木に、【9-1】、【9-2】でカバーを固定してください。

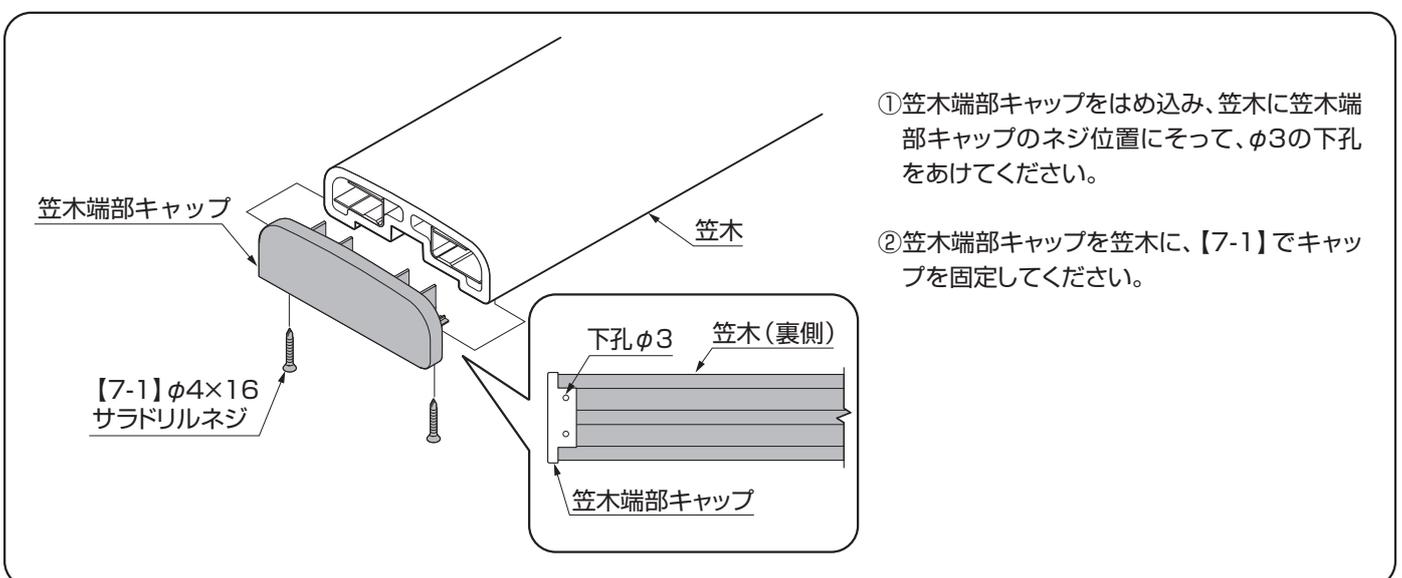
17. 笠木中間部カバーの取付け **オプション**



ポイント

- 必ず、端部キャップを取付ける前にかじり込み差し込んでおいてください。
- ①笠木中間部カバーを笠木端部からはめ込み、取付位置までスライドさせてください。
 - ②【8-1】でカバーを固定してください。

18. 笠木端部キャップの組付け



- ①笠木端部キャップをはめ込み、笠木に笠木端部キャップのネジ位置にそって、φ3の下孔をあけてください。
- ②笠木端部キャップを笠木に、【7-1】でキャップを固定してください。

19. パネルの幅切詰め

19-1 パネルの幅切詰め

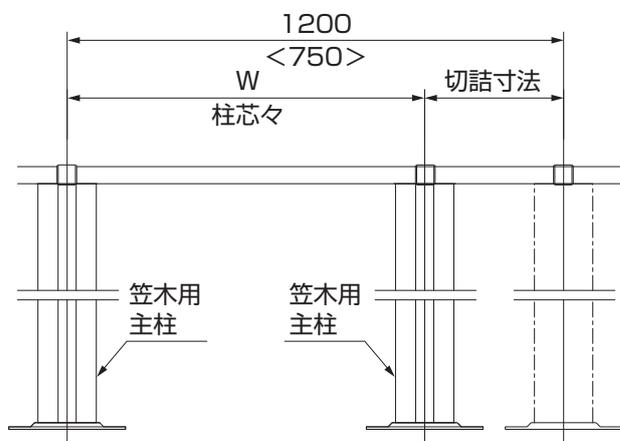


図 19-1

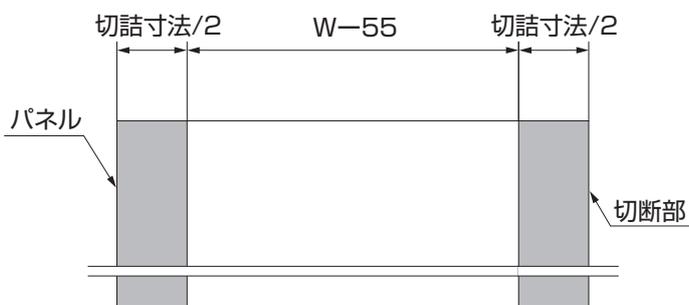


図 19-2

19-2 下棧の幅切詰め

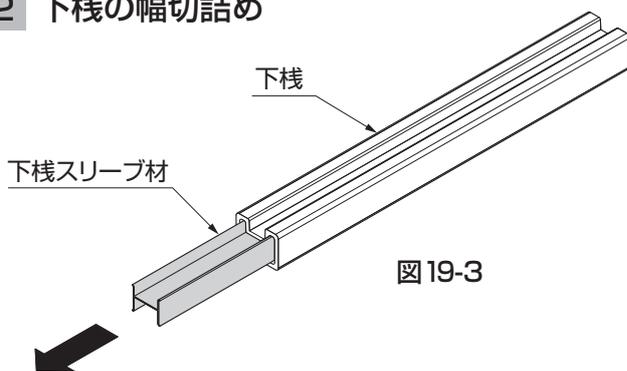


図 19-3



図 19-4

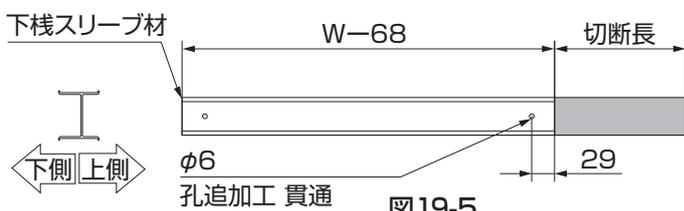


図 19-5

①切詰める寸法の柱ピッチを実測してください。

②パネルを「W-55mm」で両端から同ピッチで切断してください。

ポイント

- 井桁格子パネルの切詰は以下の通りにしてください。
 - ・ W1200 : 138mmピッチ
 - ・ W750 : 両端120mm・両端以外138mmピッチ

①下棧を切詰める側の下棧受け金具をはずしてください。

②下棧スリーブ材を取り出してください。

③下棧を「W-70mm」、下棧スリーブ材を「W-68mm」で切断してください。

ポイント

- 下棧と下棧スリーブ材の孔は上側から下側まで貫通してあげてください。

④下棧を切断した側から30mmでφ9.5の下孔を貫通してあげてください。(図19-4参照)

⑤下棧スリーブ材を切断した側から29mmのところからφ6の下孔をあけてください。(図19-5参照)

⑥加工後、再度組立ててください。

19. つづき

19-3 クロスパネルの幅切詰め

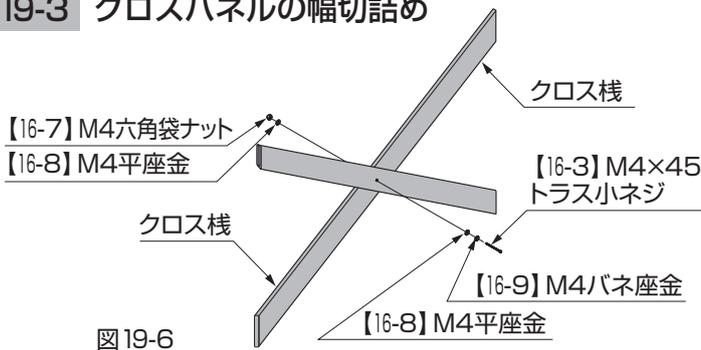


図19-6

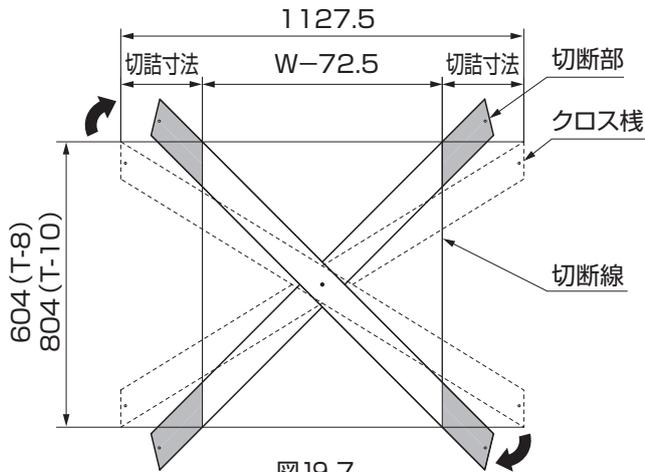


図19-7

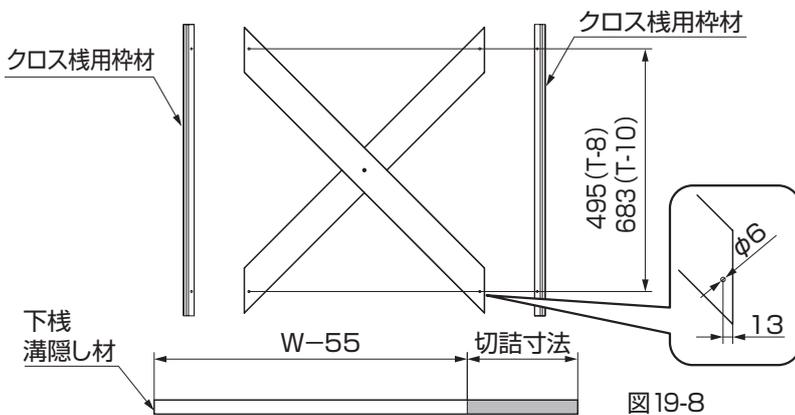


図19-8

19-4 横ビームパネルの幅切詰め

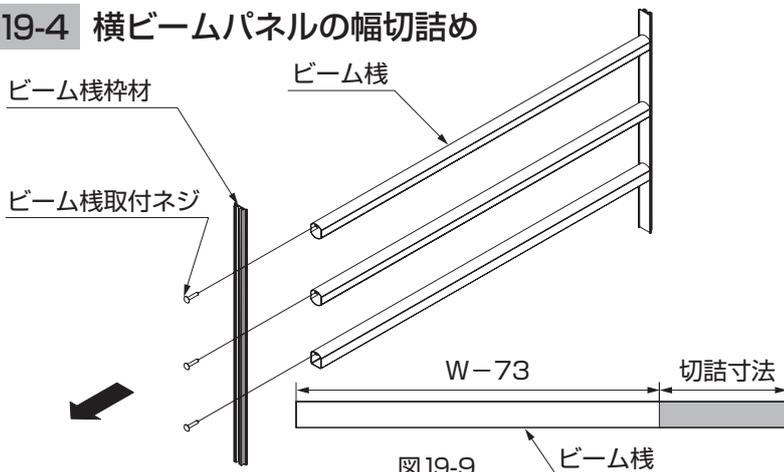


図19-9

①クロス棧の中心に、【16-3】、【16-7】【16-8】
【16-9】仮止めしてください。

②クロス棧の角度を調整し「W-72.5mm」に応じた全体寸法になるように左右均等切断線を描き、切断してください。

③クロス棧に、φ6の孔をあけてください。(図19-8参照)

④下棧溝隠し材を「W-55mm」に切断してください。

⑤加工後、仮止めした【16-3】、【16-7】【16-8】
【16-9】をはずして、「12.クロスパネルの組付け」を参照して柱に取付けてください。

①ビームパネルを切詰める側のビーム棧枠材を取りはずしてください。

②ビーム棧または下段用ビーム棧を「W-73mm」で切断してください。

③加工後、再度組立ててください。

19. つづき

19-5 ポリカパネルの幅切詰め

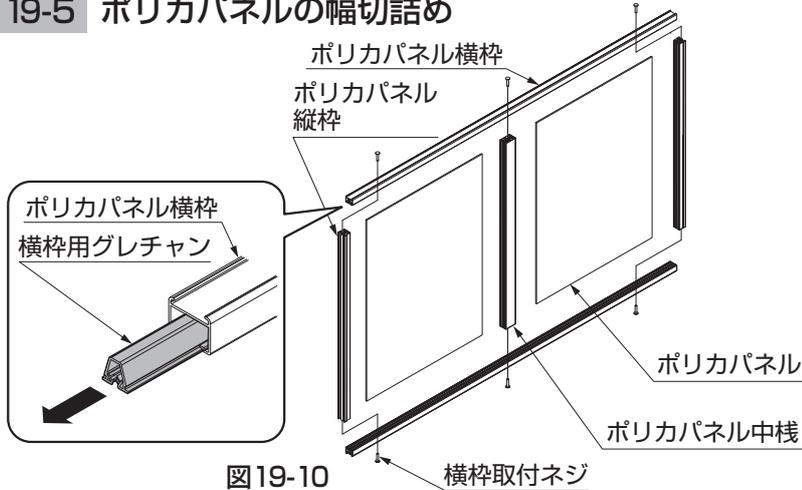


図19-10 横枠取付ネジ

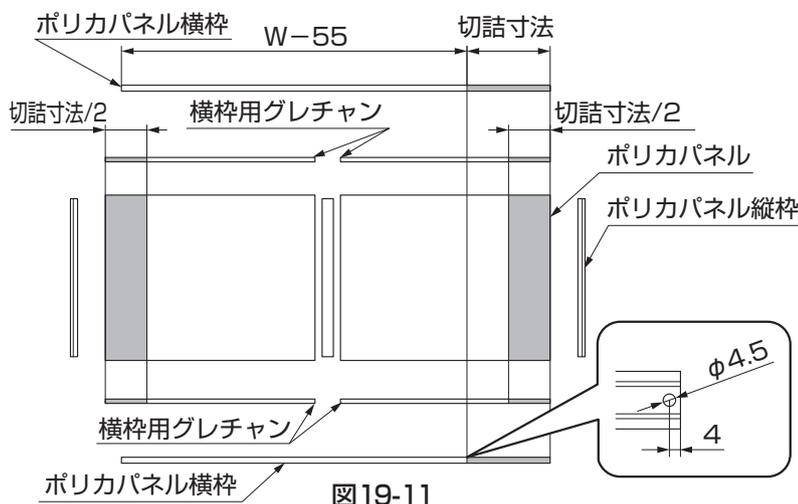


図19-11

- ①ポリカパネルを分解してください。
- ②ポリカパネル横枠から横枠用グレチャンを取出してください。(図19-10参照)
- ③ポリカパネル横枠を「W-55mm」で切断してください。
- ④続いて横枠用グレチャン、ポリカパネルを両端から切断してください。
- ⑤ポリカパネル横枠に切断した側から4mmのところをφ4.5の孔をあけてください。(図19-11参照)
- ⑥加工後、再度組立ててください。

20. 下棧LED照明ユニットの取付け **オプション**

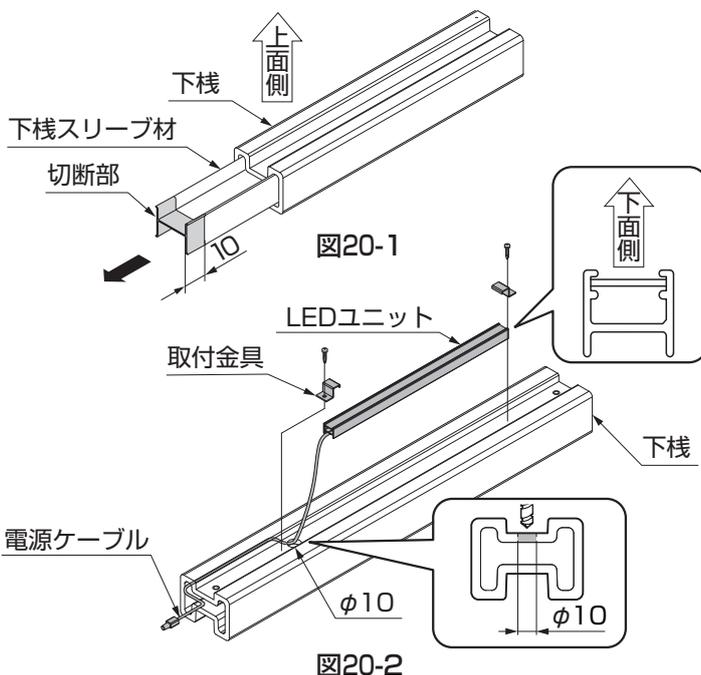


図20-1

図20-2

- ①下棧スリーブ材を抜き取り、配線を通す側のスリーブ材の端部を10mm切断してください。
- ②LEDユニットを取付ける位置を確認して、下棧の溝にφ10の下孔をあけてください。(図20-2参照)
- ③切断した下棧スリーブ材を下棧に差込み、配線を下棧の内側溝にはうようにしてください。

ポイント

- 下棧スリーブ材を下棧に差込む際、配線に引っかかって、傷付く恐れがあります。強く入れずに慎重に差し込んでください。

- ④下棧スリーブ材の位置を合わせた後、LEDユニットを下棧に取付金具で固定してください。

20. つづき

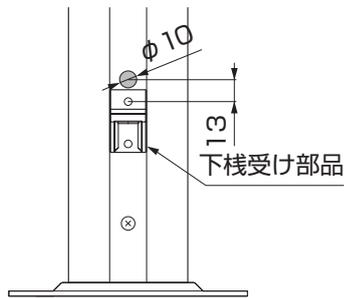


図20-3

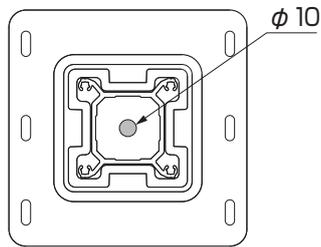


図20-4

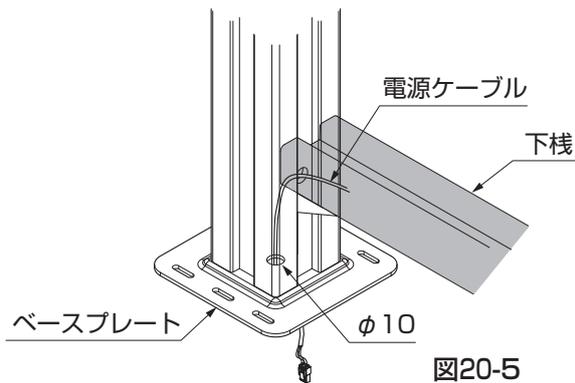


図20-5

⑤ 下棧受け部品の上部取付け孔より13mm上側の位置に、柱と柱スリーブ材へ $\phi 10$ の下孔をあけてください。

⑥ 配線をベースプレートの中心孔まで、傷付けない様に慎重に通してください。

ポイント

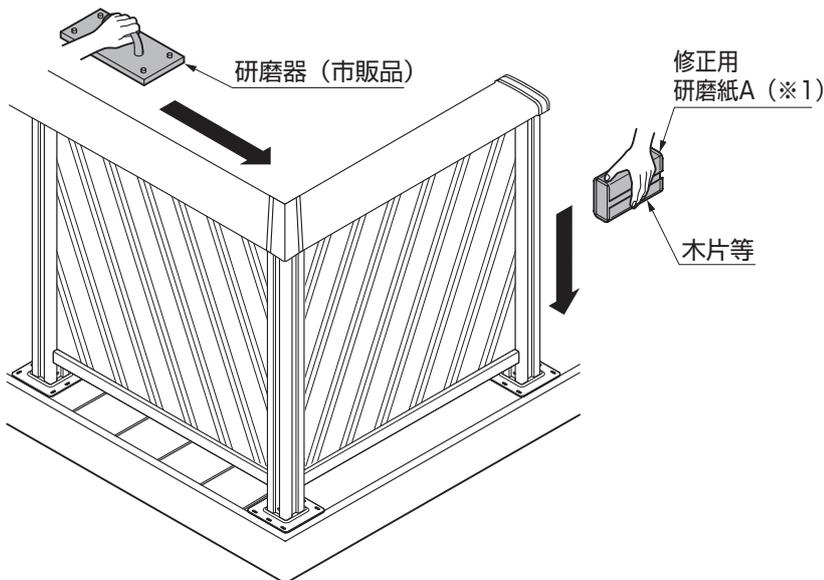
● あらかじめベースプレートが取付く面の床板に $\phi 10$ の貫通孔をあけてください。

⑦ 下棧を柱に固定してください。

補足

● 配線方法などの詳細は、「カラーコーピングユニット〈Z217〉」の取付説明書を参照してください。

21. 施工後の仕上げ



ポイント

- 施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱している研磨紙で補修してください。
- 1ヶ所を集中的に磨くのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を修正用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)
- 製品お引き渡しの際は、お客様に研磨紙による補修方法について説明をしてください。

補足

- 市販の研磨器等（研磨紙を取付ける器具）を使うときれいに仕上げることができます。
- 市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を使用してください。

取説コード

E204

JWZ612474G
200603A_1041
201210H_1041